



神田外語大学 ボランティアセンター報告書

KUIS Volunteer Center

創刊号 (2011年～2015年)



神田外語大学

Contents

目次	1
ボランティアセンター	
・ 理念・特徴	2
・ ボランティアセンターの活動・ボランティアセンター運営委員会構成員	3
創刊のご挨拶	4
スポーツ通訳・国際大会ボランティア	
・ スポーツ通訳・国際大会ボランティアとは	5
・ 主な取り組み	6
・ 全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー	8
地域貢献・国際交流ボランティア	
・ 地域貢献・国際交流ボランティアとは	11
・ 主な取り組み	12
・ 幕張チャリティ・フリーマーケット	13
・ 東日本大震災復興支援プロジェクト（2011年度～2015年度の記録）	14
・ 参加学生の声	27
・ ふくしまサクラモリプロジェクト	29
・ フィエスタ・メヒカーナ in お台場（東京）	30
・ グアダハラハラ大学（メキシコ）主催「日本文化週間2014」に協力・参加	31
国際協力・国際開発ボランティア	
・ 国際協力・国際開発ボランティアとは	33
・ 主な取り組み	34
2011年度～2014年度実績	35
ボランティア体験談	42
ボランティアセンター主催イベント	44
学内ボランティア団体（9団体）の紹介	50
ボランティア情報の発信	51
協力・関連団体	54

ボランティアセンター

理念

神田外語大学ボランティアセンター（以下を「ボランティアセンター」という。）のボランティア教育支援とは、ボランティアを提供する側の一方的な奉仕活動（サービス）だけでなく、奉仕活動を通してそれを受ける側から、活動自体を学ぶ（ラーニング）双方向的要素を含んでいます。ボランティアセンターは、学生に対し、ボランティア体験を通じて、国際社会並びに地域社会が抱えている様々な問題やニーズを発見・共有しながら、自ら考え行動する力を養い、学生の自立を促進し、成長する機会を増やします。ボランティアセンターは、ボランティア活動の中から学生が社会に出て必要な能力、

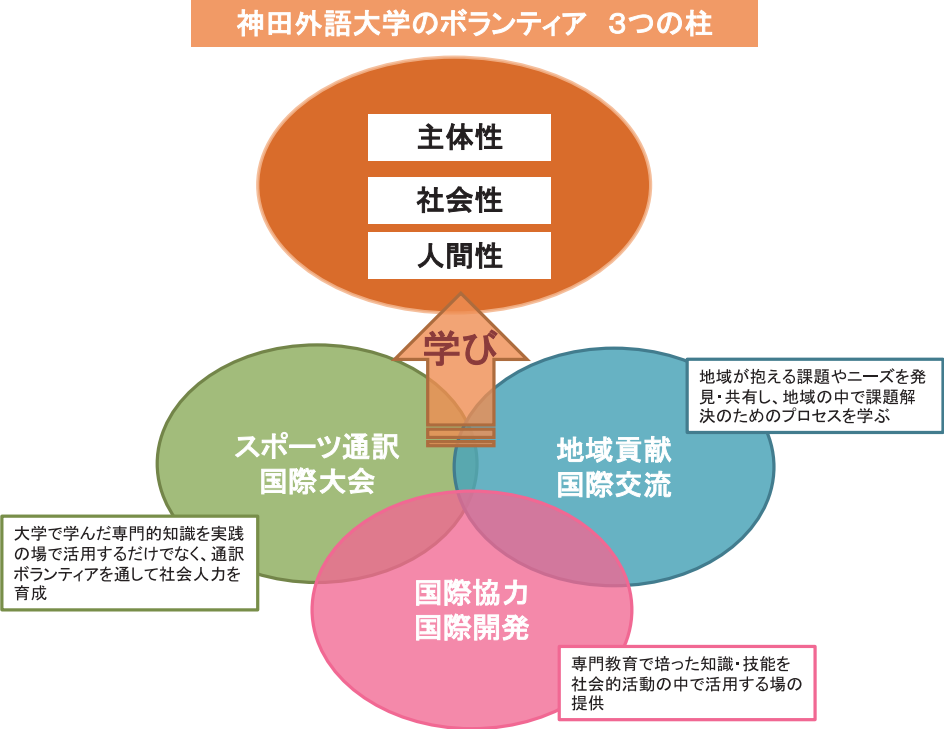
- 1. 自立・主体的な行動力
 - 2. 社会性、幅広い知識・教養
 - 3. 大学で学んだ知識を現場で活かす実践力
- の向上を目指し、様々なボランティア活動に対する育成・支援を行っています。

特徴

神田外語大学のボランティアは3つの柱に分類されます。

- 1. スポーツ通訳・国際大会
- 2. 地域貢献・国際交流
- 3. 国際協力・国際開発

大学で培った専門的な知識や技能を学外で活かす場を提供することで、学生の学習意欲向上を図ります。また、ボランティア活動を通して学生の主体性、社会性、人間性を育みます。



ボランティアセンターの活動

1. 神田外語大学の建学の精神『言葉は世界をつなぐ平和の礎』に基づくボランティア精神の育成と普及
2. ボランティア活動を通じての人材育成と社会貢献
3. 学内外のボランティア情報の紹介とその活動支援
4. ボランティア活動の記録とその広報活動支援

ボランティアセンター運営委員会構成員

No	部署／役職	氏名	No	部署／役職	氏名
1	ボランティアセンター長	柳沼孝一郎 教授	9	教務部部長	松下 和久
2	学生委員長	布川 雅英 准教授	10	広報部	寺田 誠
3	教務委員長	石居 康男 教授	11	学生課	吉原 聡
4	国際コミュニケーション学科	和田 純 教授	12	教務課	平原 三生
5	イベロアメリカ言語学科	高木 耕 准教授	13	国際交流課	柳田 知美
6	教職課程委員長	武田 明典 教授	14	グローバル推進室	前澤 宏和
7	体育スポーツセンター長	岡戸 巧	15	ボランティアセンター	羽鳥 岳裕
8	体育スポーツセンター	朴 ジョンヨン 専任講師	16	ボランティアセンター	實山あゆみ

2015年10月1日現在

創刊のご挨拶



神田外語大学ボランティアセンター長
副学長・国際コミュニケーション学科教授

柳 沼 孝 一 郎

神田外語大学は建学の精神「言葉は世界をつなぐ平和の礎」のもと、真の国際人を育成するべく外国語大学の教育の一環としてボランティア活動をカリキュラムに組み込んでおりますが、今日まで国内外を問わず多くの本学学生の皆さんがさまざまな分野において活動を展開してまいりました。本学学生の皆さんが主に通訳ボランティアとして活躍したイベントとしては、1988年に始まる国際千葉駅伝、1998年長野オリンピック、2000年世界民族芸能祭「ワールドフォークロリアード」(NHKホール)、2002年日韓共催ワールドカップ、その他、幕張メッセで開催された多くの催し物、さらにはオリンピックや各種スポーツの世界選手権大会等々、記憶に新しいところです。

現在、国際大会や国際会議に向けた通訳ボランティア育成事業を推進中ですが、これまで、幕張メッセ、千葉県、千葉市などの自治体、近隣の自治会、小中学校などが主催する数多のイベントや国際交流会に「幕張新都心賑わいづくり研究会学生部」の皆さんが参加、そして神田外語大学サークル「CUP」(Create Universal Peace)が主導する「幕張チャリティ・フリーマーケット」、さらには児童英語・英語教員養成履修生やサークル「MakeSmile」を中心とした宮城県亘理町および福島県三春町と天栄村における「東日本大震災復興教育ボランティア」等々、活動は多岐にわたっています。

ボランティア精神を学び、ボランティア活動を一元化する目的で「ボランティアセンター」が発足されて2年が経過しますが、来たる2016年度に第30期生の新入生の皆さんを迎えるにあたり、本学教授会の組織であるボランティアセンター運営委員会および同センター事務局はこのたび「年次報告」を創刊する運びとなりました。そこに見えてくるのは、本学学生と教職員の今日までの活動の足跡です。ボランティア活動を通して学生の皆さん一人一人が、卒業生と在校生がつながり、社会連携を通して切磋琢磨しつつ人間力を培ってきた、そしてなお進行中の証といってもいいでしょう。

まさに、「ボランティア活動は人と社会と世界と、そして自分自身をつなぐ教育の礎」なのです。

スポーツ通訳・国際大会ボランティア

スポーツ通訳・国際大会ボランティアとは

本学の教育理念である「言葉は世界をつなぐ平和の礎」の下、国際的なスポーツイベントに携わる機会を学生に提供することで、その実践の場において言語の運用能力や社会性を育み、そして人間性を高め国際社会に貢献できる人財を育成すること、それが神田外語大学体育・スポーツセンターが目指す活動です。

「スポーツと言語コミュニケーション 教育からグローバル人材育成」

全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成コーディネーター
体育スポーツセンター専任教員

朴 ジョンヨン



スポーツのグローバル化に伴い、国内での国際スポーツイベントとの開催数は年々増え、運営にあたり言語・コミュニケーションが重要な課題としてあげられます。毎年、神田外語大学からは多くの通訳ボランティアを送り出しています。参加した学生からは「語学に対するモチベーションアップにつながった」、「学んでいる言語以外にほかの言語も学びたい意欲ができた」、「以前より異文化に対する興味を持つようになった」など非常に充実した感想を聞いています。

これまでの成果と経験を基に2015年より、全国外国語大学の学生を対象とした「全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー」を開催していきます。具体的には、2020年までに全国7外国語大学（東京外国語大学、神田外語大学、名古屋外国語大学、京都外国語大学、関西外国語大学、神戸市外国語大学、長崎外国語大学）で構成される連合体として、約1万人の多言語対応の通訳ボランティアを育成します。

今後、この取組が日本の全国において開催される国際スポーツ、文化、教育分野で、活躍できるグローバル人材を輩出するきっかけになることを願っております。

主な取り組み

◆ソチオリンピック通訳サポート



ソチオリンピックの通訳サポートスタッフとして、2014年1月31日～2月25日の約1ヶ月間、現地で通訳サポート業務に携わりました。アルペンスキーのルール翻訳や、選手のコメント翻訳、そして番組放送前のマイクチェックの音量調節を、コントロールルームに英語で指示したり、インタビューゾーンに入って直接選手にコメントを求めたりしました。

◆JA全農2014年世界卓球団体選手権東京大会



2014年4月28日(月)～5月5日(月)に東京で開催された「JA全農2014年世界卓球団体選手権東京大会」に、英語25名の学生が通訳ボランティアとして大会運営の活動に参加しました。

大会期間中は、オフィシャルデスクとして大会関係者・選手団の受付や窓口対応、VIP対応の業務を主に行い、大会運営の顔となる立場で5日間通訳ボランティアの活動を行いました。

◆ISU世界フィギュアスケート選手権大会2014



2014年3月26日(水)～30日(日)に埼玉で開催された「世界フィギュアスケート選手権大会2014」に、英語2名、中国語1名の学生が通訳ボランティアとして大会運営の活動に参加しました。

大会期間中は、メディア対応の業務を主に行い、アイスリンクからの選手誘導や大会事務局から発信された伝達事項の翻訳など、大会運営と様々な国の選手を繋ぐ架け橋とし、6日間通訳ボランティアの活動を行いました。

参加学生の声

◆ ソチオリンピック通訳サポート

客観的に見れば、統括責任の方から直接、大変良い評価を頂いたので、成功だったと思います。しかし主観的には、英語においても、人間性においてもまだまだ勉強や経験を積んでいかないと、世界で活躍するまでには至れないと自覚しています。今後は、スポーツ通訳ボランティアや、震災ボランティアなど様々な課外活動に取り組むのと同時に、苦手分野の力をつけたいと思います。そのためにも一日を大切に、やると決めたら最後まで、誰になんと言われようと、自分の信じている道を突き進みます。（英米語学科・2年生）

◆ JA全農2014年世界卓球団体選手権東京大会

初めて通訳ボランティアに参加しましたが、世界各国の人たちと触れ合う機会が多く貴重な経験を積むことができました。相手が何を言っているのか、何を求めているのかは比較的理解することができましたが、英語で返答する際に英語表現がすぐに出てこないことが多々ありました。しかしお互い英語話者ではないため、正確な英語表現ではなくても意思疎通し合うことができたように思います。正確な英語表現、発音を身に着けた通訳ボランティアに挑戦したいと思います。（国際コミュニケーション学科3年生）

◆ ISU世界フィギュアスケート選手権大会2014

ボランティアを通して私が今回学んだことは、運営側の方々の仕事の大変さと充実感です。

通訳ボランティアとして微力ながらも、協会の人と海外の選手の通訳をしたり、今まで経験することのできないことをこの5日間でたくさん経験することができました。

英語力だけではなく、“通訳力”もなければならぬということを感じました。ただ英語が話せるだけでは通訳とは言わず、選手や相手の気持ちまで通訳するほどのコミュニケーション力、日本語表現力が必要であるということを学びました。（英米語学科3年生）

全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー ～世界スポーツ・国際イベントに向けて～

概要

開催日程：

2015年8月24日(月)～27日(木)

受講人数：

240名

受講対象（以下の大学に在籍している学生）：

関西外国語大学、神田外国語大学、京都外国語大学、神戸市外国語大学、東京外国語大学、長崎外国語大学、名古屋外国語大学

開催場所：

神田外国語大学

後援：

文部科学省、外務省、観光庁、千葉県、2017札幌アジア冬季大会組織委員会、公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、NPO法人日本オリンピックアカデミー、一般社団法人全国外国語教育振興協会

協力：

一般社団法人ホスピタリティ機構

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナーについて

グローバル社会が急速に進行している中、真のグローバル人材に求められるのは語学力だけでなく、世界に通用する人間力です。つまり、自ら主体的に考え、責任を持って行動することが重要です。

このセミナーは「人間としてのキャパシティを広げるための学び、リベラルアーツ（教養教育）をみにつけるために役立つカリキュラムになっています。

内容としてはスポーツ・文化を始め日本・異文化理解そして、ホスピタリティマインド、通訳技法・スキル等幅広い知識・技能を学ぶことができます。



全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナーの開催報告

神田外語大学体育・スポーツセンターは2007年4月～2015年11月まで国際スポーツ大会110回において、865名の学生をスポーツ通訳ボランティア活動として送り出してきました。オリンピックやワールドカップで代表されるように、スポーツの国際化、グローバル化が急速に進行している中、大会の円滑な運営には言語・コミュニケーションの分野が大きな課題とされ、外国語が使えるボランティアの存在は必要不可欠になってきています。この活動は体育・スポーツがもたらす社会・教育的な機能及び効果を検証すると同時に、語学・コミュニケーション力などグローバル人材育成に寄与する貴重な実践の場を提供するものです。

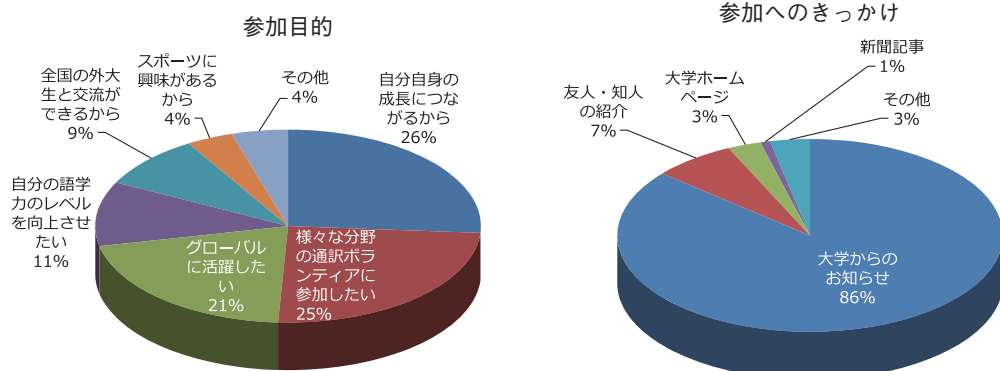
これまでの実績と成果のもと、昨年11月に開催された全国外大学長会議（場所：京都外国語大学）で、全国7つの外語大が連携し、通訳ボランティア育成を進めていくことが決定しました。それに伴い今年初となる「全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー」を神田外語大学にて開催しました。第1回目のセミナーは8月24日～27日（3泊4日間）に開催し、文部科学省、外務省他ラグビーワールドカップ組織委員会などが後援し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会など様々な関係機関の協力の下で開催されました。当初、240名を募集したのに対し、約1,000名近い申込者がありました。参加した受講者からは「グローバル人材とは何か、そのために何をすべきかが明確になった」、「参加する前より語学を学ぶ意義と学習意欲が高まった」、「日本人としてのアイデンティティについて考えるようになった」など充実した内容であったことが伺えました。

今後、このセミナーで学んだ知識・スキルが外国語を学ぶ学生たちの役に立ち、スポーツを通じて世界の平和に貢献できるグローバル人材が多く輩出できることを心から願っています。

資料1 大学別の事前申込者数と受講者数

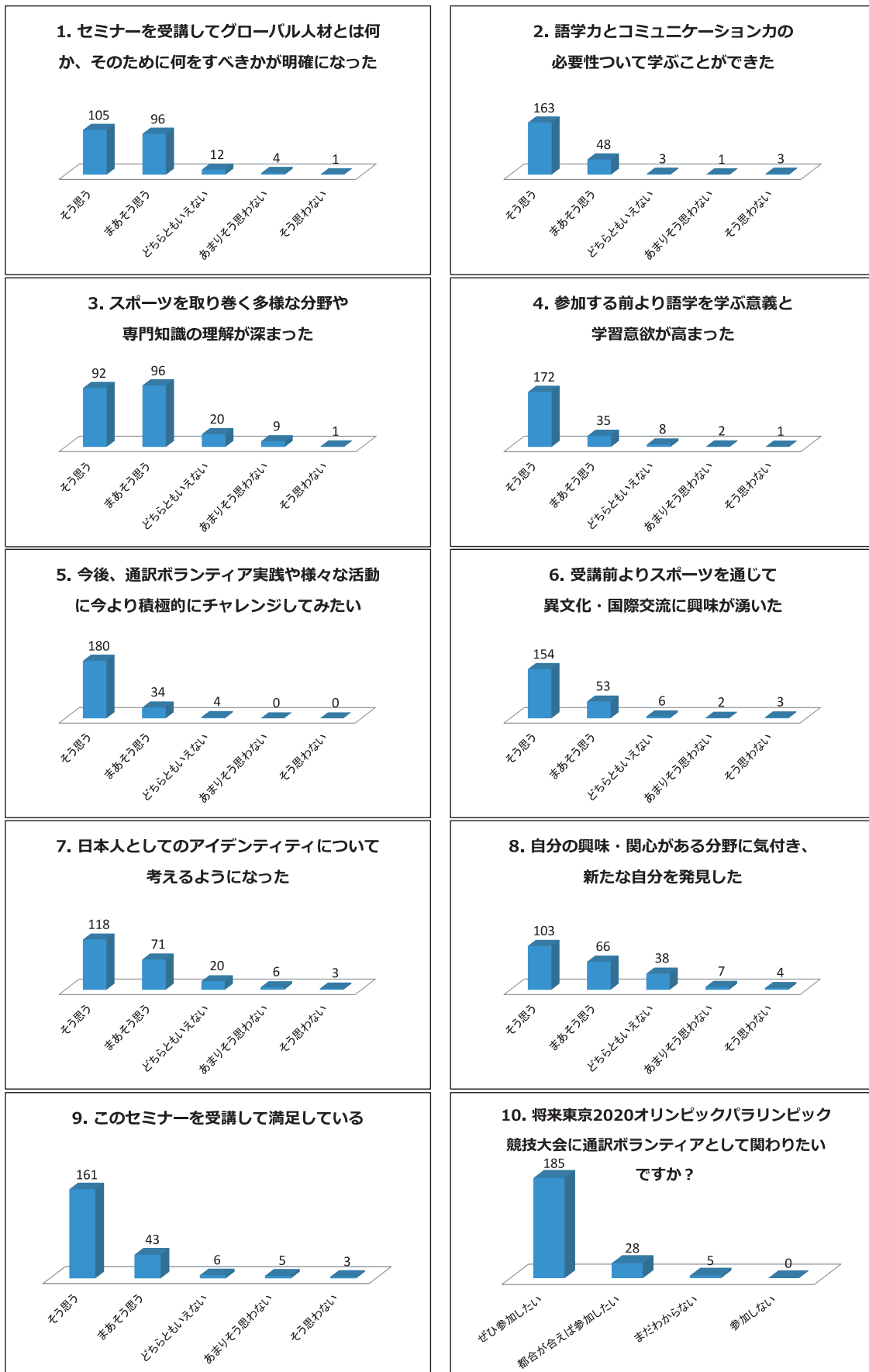
大学名	事前申込者数	募集枠	受講予定者数 (開催前日時点)	当日受講者数	バンク 登録者数
関西外国語大学	354名	27名	27名	27名	27名
神田外語大学	378名	123名	122名	119名	106名
京都外国語大学	101名	27名	27名	27名	27名
神戸市外国語大学	13名	9名	9名	9名	9名
東京外国語大学	14名	6名	6名	6名	2名
長崎外国語大学	21名	21名	21名	21名	20名
名古屋外国語大学	98名	27名	27名	27名	26名
合計	979名	240名	239名	236名	217名

資料2 参加動機



資料3 参加後の自己評価（アンケートによる集計）（単位：人）

回答者数：218人



地域貢献・国際交流ボランティア

地域貢献・国際交流ボランティアとは

学生は地域社会が抱える様々なニーズや課題を自ら発見することで、地域との協働意識を持ち、ボランティア体験を通して主体的、能動的に行動することを学びます。

「自分の足で立ち、地域に貢献し、 世界とつながる」

国際コミュニケーション学科教授

和田 純



「ボランティア活動」というものが本質的に何を意味するのか、それを一言で語ることは容易ではありません。その内容はあまりにも多種多様だからです。しかし、間違いなく言えるのは、あらかじめ誰かが用意したプログラムに「参加」する形よりも、何もないところから自分たちで考え出し、自分の足で立ち上がり、自力で創り上げてきた活動の方が、ボランティア活動としてはより本来的だろうということです。

その意味では、「モノの寄付」「時間の寄付」「お金の寄付」の3つをフリーマーケットの中で連動させ、「誰もが気軽にできる社会貢献」をめざしてきた「幕張チャリティ・フリーマーケット」は、4人の学生が徒手空拳で始めた本来的なボランティア活動の嚆矢といえます。幕張地域の活性化に貢献し、売り上げをアジアの自立支援に活かそうという構想は学内外で支持を得て、活動は10年以上継承され、寄付額は1,500万円を超えるまでに育ちました。自然発生的に担い手が学生から学生へと受け継がれてきた姿には、ボランティア活動の原点を見る思いがします。

グローバル化とともに「国内」と「国際」との区別が意味をなさなくなってきた現代にあって、地元地域への貢献から世界へとつながる視座をもつことで、学生ボランティアも市民社会でより大きな役割を果たせるものと期待しています。



主な取り組み

◆第43回技能五輪ブラジル大会



2015年8月7日(金)～8月15日(土)、ブラジルのサンパウロにおいて在学生3名が技能五輪国際大会の通訳ボランティアを行いました。

在学生はウェブデザイン、グラフィックデザイン、レストランサービスの3種目に参加し、競技前のエキスパート会議でまず競技当日の課題が発表され、会議終了後から毎日夜遅くまで競技本番の課題翻訳を行いました。大会当日からは選手の競技中の通訳業務にあたりました。

◆幕張南小学校ニュージーランド交流会通訳ボランティア



2014年9月25日(木)千葉市立幕張南小学校にてニュージーランド交流会が実施され、在学生28名が通訳ボランティアとして参加しました。本学からのボランティアとしての参加は今年で15年目になります。今年の交流会には、ニュージーランドからの留学生51名が参加し、日本とニュージーランドの文化交流をしました。

その際に、本学学生は通訳として日本の小学生とニュージーランドからの留学生との間の架け橋となり異文化交流をサポートしました。

◆2014ミスインターナショナル中央区日本橋世界文化交流通訳ボランティア



2014年11月1日(土)東京・日本橋にて開催された同イベントにて、本学の学生8名が各国のミス代表総勢75名(2013年ミス・インターナショナルグランプリ1名を含む)に付き、英語での通訳ボランティアを行いました。

各国ミス代表は、日本橋川に浮かぶやかた船でのショーや、日本橋地域のさまざまな名所を巡る「日本橋歩きめぐり」や、三越日本橋本店の1階中央ホールでの「お披露目ショー」などのイベントに参加し、ボランティアに参加した学生は各ポイントでの説明や買い物の際の通訳として活躍しました。

幕張チャリティ・フリーマーケット

本学の学生ボランティア団体『CUP=Create Universal Peace』が主催者となって企画・運営し、大学全体が協働するチャリティイベントで、「幕チャリ」の愛称で親しまれています。2005年にスタートし、教職員・地域住民・地域団体・企業・自治体・NGOなど多岐にわたるセクターと連携して、地域活性化と社会貢献・国際協力が目指されてきました。

幕チャリのモットーは「みんなで半歩踏み出す」。一步は難しくても半歩なら誰でも踏み出せる—そうした力を結集し、「楽しみながら誰もが気軽にできる社会貢献」を続けて、幕チャリではすでに1,500万円を超える寄付金を生み出してきました。この寄付金はアジア各地の自立支援や、東日本大震災復興支援などに役立てられてきています。

2005年～2015年実績

年度	日程	売上等総額	寄付金	寄付先	応援販売
2005	5月21日(土) 22日(日)	107万円	100万円	全国盲導犬施設連合会	なし
2006	5月20日(土) 21日(日)	80万円	65万円	公益信託「アジア・コミュニティ・トラスト(ACT)」	なし
2007	5月19日(土) 20日(日)	130万円	130万円	公益信託「アジア・コミュニティ・トラスト(ACT)」	なし
2008	5月17日(土) 18日(日)	202万円	202万円	公益信託「アジア・コミュニティ・トラスト(ACT)」	なし
2009	5月16日(土) 17日(日)	184万円	184万円	公益信託「アジア・コミュニティ・トラスト(ACT)」	なし
2010	5月15日(土) 16日(日)	151万円	151万円	公益信託「アジア・コミュニティ・トラスト(ACT)」	なし
2011	5月21日(土) 22日(日)	205万円	205万円	神田外語グループ東日本大震災復興支援プロジェクト	なし
2012	5月19日(土) 20日(日)	217万円	110万円	公益信託「アジア・コミュニティ・トラスト(ACT)」	107万円
2013	5月18日(土) 19日(日)	150万円	110万円	公益信託「アジア・コミュニティ・トラスト(ACT)」	40万円
2014	5月17日(土) 18日(日)	128万円	75万円	公益信託「アジア・コミュニティ・トラスト(ACT)」	53万円
2015	5月23日(土) 24日(日)	138万円	82万円	公益信託「アジア・コミュニティ・トラスト(ACT)」	43万円
			13万円	ネパール大地震緊急支援	

幕チャリでは、秋の学園祭「浜風祭」でも小規模なフリーマーケットを開催し、これまでに約80万円をACTに寄付しています。

東日本大震災復興支援プロジェクト 2011年度～2015年度の記録

はじめに

神田外語グループでは、復興支援プロジェクトの一環として、英語をはじめとする外国語の運用能力において高い評価を頂戴している神田外語大学・神田外語学院の学生が被災地を訪問し、英語教育活動を支援しています。2011年の活動から今年で5年目を迎える東日本大震災復興教育ボランティア（以下、復興教育ボランティア）は、英語教育活動を通して、被災地の子供たちに英語を楽しく学んでもらい、継続して被災地を訪れることで震災を風化させないことを目的に活動しています。2015年度は、宮城県亘理町の6ヶ所の児童館で神田外語大学生28名と神田外語学院生5名、福島県三春町では三春小学校・御木沢小学校、天栄村の天栄幼稚園、湯本小学校、牧本小学校、大里小学校、広戸小学校にて神田外語大学の在学学生18名が活動を実施します。

東日本大震災復興支援プロジェクト（2011年度～2015年度）

2011年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/21～5/22	東日本大震災復興支援緊急募張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：天栄村出店（物産直販）	神田外語大学	400
5月下旬～ 7月中旬	英語教育活動の支援ボランティア	千葉県旭市小学校	6
7/20	シンポジウム「3.11東日本大震災を考える—私たちに何ができるだろうか」	神田外語大学	80
8/9～8/11	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	16
8/22～8/26	宮城県：東松島市の浜市小学校、仮設住宅における活動支援	宮城県：東松島市	20
8/30～9/1	宮城県：女川町の仮設住宅における活動支援	宮城県：女川町	15
9/5～9/7	福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町	6
9/6～9/9	宮城県：南三陸町歌津中学校での教育支援ボランティア	宮城県：南三陸町	21
9/12	第1回東日本大震災復興支援ボランティア報告会	神田外語大学	80

2012年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/19～20	第8回募張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、稲毛商店街振興組合、(株)街づくりまんぼう、Power of Japan	神田外語大学	200
8/7～8/11	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	13
8/28～8/31	宮城県：東松島市の浜市小学校、仮設住宅における活動支援	宮城県：東松島市	8
9/2～9/5	福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町	9
11/7	第2回東日本大震災復興支援ボランティア報告会	神田外語大学7号館2F クリスタルホール	55

2013年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/18～19	第9回幕張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会	神田外語大学	200
6/19・21	東日本大震災復興教育ボランティア説明会	神田外語大学	264
8/5～8/9	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	39
9/1～9/4	福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町	17
11/7	第3回東日本大震災復興支援ボランティア報告会・講演会	神田外語大学7号館2F クリスタルホール	30

2014年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/17～18	第10回幕張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、社会福祉法人はたまき・手づくりの里、株式会社一松商店	神田外語大学	200
5/17～18	MakeSmile～こども英語プロジェクト～ ⇒近隣の小学生を対象に行った英語アクティビティと被災地のパネル展示	神田外語大学 芝グラウンド	56
8/4～8/8	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	40
8/31～9/5	福島県：三春町／天栄村の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町 天栄村	17
11/1、11/2	浜風祭での活動紹介パネル展示	神田外語大学	106
11/11	第4回東日本大震災復興教育ボランティア報告会 (福島県三春町・天栄村)	神田外語大学	21
11/12	第4回東日本大震災復興教育ボランティア報告会 (宮城県亘理町)	神田外語大学	32

2015年度

実施日	プロジェクト名	場所	参加人数
5/23～24	第11回幕張チャリティ・フリーマーケット ※応援買い：福島県天栄村、ブリティッシュヒルズ、石巻元気復興センター、和田ゼミ社会起業研究会、社会福祉法人はたまき・手づくりの里、株式会社一松商店、社会福祉法人はらから	神田外語大学	150
5/23～24	MakeSmile～こども英語プロジェクト～ ⇒近隣の小学生を対象に行った英語アクティビティと被災地のパネル展示	神田外語大学 芝グラウンド	20
8/3～8/7	宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援	宮城県：亘理町	33
8/30～9/4	福島県：三春町/天栄村の小学校における英語教育活動の支援	福島県：三春町 天栄村	18
10/31、11/1	浜風祭での活動紹介パネル展示	神田外語大学	140
11/16	英語教育ボランティア報告会 (福島県三春町・天栄村)	神田外語大学	—
12/1	第5回東日本大震災復興支援ボランティア報告会 (宮城県亘理町)	神田外語大学	—

※応援買い：幕チャリでは「3.11を忘れない」を合言葉に震災復興支援を継続するため、地域の産品を積極的に購入することで被災地の生活再建、産業復興、雇用拡大を支援するという意味を込めた東北物産展エリアです。

東日本大震災復興支援プロジェクト詳細（2011年度）

■ 東日本大震災復興支援緊急募張チャリティ・フリーマーケット（募チャリ）

2011年度は、学生ボランティア団体「神田外語大学CUP (Create Universal Peace)」の主催のもと、当日は400名を超える学生ボランティアと、姉妹校神田外語学院からの学生ボランティア、さらには募チャリ経験者である卒業生の協働により運営されました。2日間で3,800名以上の来場者があり、売上金・寄付金の合計額は200万円を超えました。その売上金・寄付金は、教育支援をより広域化させ充実させていく上での貴重なシードマネーとして、「教育支援プロジェクト資金管理委員会」において適正に管理の上、有効に活用させていただきました。

【学生による募金活動】

募金267,201円を福島県教育委員会に寄付しました。

神田外語グループ理事長室の川井室長が福島県庁を訪れ森下県教育委員会総務課長に目録を手渡しました。

■ 福島地域産品直売所「復興の駅」

神田外語グループ（東京都千代田区 理事長 佐野元泰）が擁する国際研修センターブリティッシュヒルズ（福島県岩瀬郡天栄村 代表取締役社長 川島和人）は、福島県復興支援活動の一環として、福島県天栄村にある「道の駅羽鳥湖高原」と共催し、東京都千代田区にある神田外語グループ本部ビルにて「頑張ろう！ふくしま」を合言葉に、福島地域産品直売所「復興の駅」を6月27日(月)から9月30日(金)の約3ヶ月間、期間限定でオープンしました。（平日11：00-19：00）

神田外語グループ学校法人佐野学園会長の佐野隆治は第2次世界大戦中福島県会津高田町（現美里町）に疎開した経験を持ち、福島の人々に何か恩返しをとの思いでブリティッシュヒルズの設立を思い立った人物です。今回は縁のある、被災した福島県天栄村を救うべく、同天栄村でブリティッシュヒルズを運営する神田外語グループとして、本部ビルの一部を無償貸し出しをして、天栄村「道の駅 羽鳥湖高原」からの地酒、野菜、米など特産品を販売しました。

■ 5月中旬～7月下旬：千葉県旭市小学校における英語教育活動の支援

津波による甚大な被害を受け、ALT教員（Assistant Language Teacher）の帰国などに直面していた旭市の小学校において、神田外語大学生（6名）が外国語活動の支援（担任教員とのチームティーチング）を行いました（共和小、三川小、飯岡小、嚶鳴小の4校）。本学の附置研究所である児童英語教育研究センター（CTEC）のサポートもあり、非常に効果的な教育支援を行うことができました。

■ 7月20日(水)：シンポジウム「3.11東日本大震災を考えるー私たちに何ができるだろうか」

4名のパネリストを迎えて、「震災の現状を知り、神田外語大学の学生としてできることを考える」を目的に、旧国際社会研究所（現在：グローバル・コミュニケーション研究所）が主催となりシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、過去にあった自然災害について、東日本大震災の現状についてなど各パネリストからの報告、ボランティア活動に臨む上での心構えなどについてもお話を頂きました。

シンポジウムのコーディネーターである高木耕先生（イベロアメリカ言語学科）を中心に4名のパネリストからのお話がありました。土田宏成先生（国際コミュニケーション学科）からは日本で過去に起きた自然災害の紹介があり、原子力発電所が日本国内に設置される歴史的背景についても解説しました。続いて、本学スペイン語学科の卒業生で、被災地に物資支援を行う任意団体“Power Of Japan”の代表である神田望美さんは、被災地における活動を通じた被災者たちとの交流についての報告があり、普段直接聞くことのできない現地の様子を知ることができ、学生も真剣に耳を傾けていました。千葉県旭市立第一中学校のALT教員であるエミリー・ムカイ・マリコさんからは、当日の被災経験や生徒たちの様子についてお話など、今回の震災の影響は東北地方だけではない、私達の身の回りにも震災の影響を大きく受けていることを再認識す

る機会となりました。

旭市で英語教育支援ボランティア活動をしている本学国際コミュニケーション学科4年生の和泉瑛子さんからは、生徒たちとの交流の様子や、これからボランティア活動を行う学生たちへのアドバイスをして頂きました。最後に、シンポジウム開催に先立って神田外語グループ佐野元泰理事長より被災地復興と被災者支援に対するグループの取り組みについてお話がありました。学生や教職員が「今、神田外語グループだからこそ私達にできること」を考える非常に有意義なシンポジウムとなりました。



シンポジウムの様子①



シンポジウムの様子②

2011年度東日本大震災復興教育ボランティア活動報告 8月9日(火)～9月9日(金)

■ 8月9日(火)～8月11日(木)：宮城県：亶理町の児童館における英語教育活動の支援

宮城県亶理町の児童館（亶理中央児童センター、逢隈児童館、荒浜児童クラブ、吉田児童クラブ、吉田西児童クラブ）において、神田外語学院の児童英語教育科に所属する学生（16名）が英語教育ボランティアを行いました。児童館職員の方々より、「震災以降、職員の人手が足りず、子供たちの有り余るパワーについていけなかったが、こうして一緒に遊んでくれ、子供たちを見てくれているだけでも、非常にありがたい」、「子供たちと年代の近い学生さんが来てくれて、子供たちも本当に喜んでいる」、「できれば、夏休み期間中ずっといて欲しい」というコメントを頂戴しました。

■ 8月22日(月)～8月26日(金)：宮城県：東松島市の浜市小学校、仮設住宅における活動支援

宮城県東松島市の浜市小学校および3つの仮設住宅集会所（グリーンタウン矢本、矢本運動公園、ひびき工業団地）において、神田外語大学の学生（20名）が外国語活動を主体とした、教育ボランティア活動を行いました。「自分たちができるものは何か？」を学生はずっと模索しながら、現地のニーズに合わせて、毎日少しずつ活動内容を変えて工夫しました。この活動は、次第に浜市小学校の生徒や先生方、仮設住宅にお住まいの皆様にも認知され、最終的には参加した子供たちに笑顔を届けることができました。学生も子供たちの心の強さや、現地の皆さんの温かさに触れたことで、それぞれが何かを感じ、精神的にも大きく成長できたようです。

午 前：浜市小学校における活動

- 授業サポート ■行間休みにおける生徒とのふれあい ■教具・教材の整理
- 課題の添削／まるつけ ■草むしり ■側溝の泥かき ■雑巾縫い など

午 後：各仮設住宅集会所における活動

- 英語による歌やおどり ゲームなどの外国語活動 ■絵本の読み聞かせ
- 生徒とのふれあい（サッカー、おにごっこ、かくれんぼ） ■中学生の勉強サポート

■ 8月30日(火)～9月1日(木)：宮城県：女川町の仮設住宅における活動支援

宮城県女川町の仮設住宅集会所（女川運動公園）、避難所（運動公園内体育館）において、神田外語大学の学生（15名）が外国語活動を主体とした、教育ボランティア活動を行いました。仮設住宅と避難所の皆様に認知されるまで、学生は現地ニーズの把握に努め、工夫を重ねながら子供達とゲームや遊びを積極的に取り入れ活動を行いました。

終 日：仮設住宅集会所における活動

英語による歌やおどり、ゲームなどの外国語活動、お散歩 各教科の宿題の手伝い
児童・生徒とのふれあい
(かけっこ、サッカー、おにごっこ、アスレチック、ぬりえ、折り紙)

■ 9月5日(月)～9月7日(水)：福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援

福島県三春町の小学校（三春小学校、御木沢小学校）において、神田外語大学の学生（6名）が外国語活動の教育支援を行いました。三春小学校では高学年5クラスに対して、1校時～5校時まで1クラスずつ2日間にわたりレッスンをを行い、御木沢小学校では1・2年生と一緒に、3～6年生は学年ごとに1校時～5校時までレッスンを行いました。

■ 9月6日(火)～9月9日(金)：宮城県：南三陸町の歌津中学校におけるボランティア活動支援

宮城県南三陸町の歌津中学校において、神田外語大学の学生（21名）が教育ボランティア活動を行いました。7クラス（各学年2クラス+特別学級クラス）に分かれ、英語の授業だけでなく数学や社会の授業においても学習のサポートを行いました。

■ 9月12日(月)：「東日本大震災復興支援ボランティア 報告会」を開催

旧：国際社会研究所（現在：グローバル・コミュニケーション研究所）が主催となって、本学学生が夏に参加した4地域の教育ボランティア活動の報告会を開催しました。当日はボランティアに参加した学生のほか、プロジェクトに関心をもつ学生や教職員が多数参加しました。報告会では、各地域で活動内容や感想、反省点などを発表してもらいました。それら学生の発表は短期間での準備にもかかわらず、大変分かりやすく、また、映像も駆使され、現地での活動状況が良く伝わる報告でした。また、それぞれの感想が実体験に基づき、一つ一つの言葉に重みがありました。



松島の宿舎前にて集合写真



宮城県本吉郡南三陸町の海岸を見学

東日本大震災復興支援プロジェクト詳細（2012年度）

■ 第8回幕張チャリティ・フリーマーケット（幕チャリ）

2012年度は、学生ボランティア団体「神田外語大学CUP（Create Universal Peace）」の主催で東日本大震災からの復興支援の継続と、アジアの社会開発支援の再開の両方に取り組む決意を込め「芽を育て 目を向ける」というテーマで開催しました。震災復興支援として特設した「応援買い」コーナーでの売上110万円は、被災地へ持ち帰っていただいて復興に役立てていただきました。

2012年度東日本大震災復興教育ボランティア活動報告 8月7日(火)～9月5日(水)

■ 8月7日(火)～8月11日(土)：宮城県：亶理町の児童館における英語教育活動の支援

神田外語大学児童英語教育研究センターアシスタント1名、神田外語大学生13名、神田外語学院生7名が、宮城県亶理町にある児童館（亶理中央児童センター、逢隈児童館、荒浜児童クラブ、吉田児童クラブ、吉田西児童クラブ）で英語教育ボランティアを行いました。今回のボランティアは昨年につき2回目となるため、英語を使ったより良い支援活動が行えるよう亶理中央児童センターの渡邊先生を中心に事前打ち合わせを行い、7月に学生の募集を開始し、8月1日、児童英語教育研究センター（CTEC）の長田恵理先生指導のもと事前研修を行いました。

■ 8月28日(火)～8月31日(金)：宮城県：東松島市の浜市小学校、仮設住宅における活動支援

神田外語大学児童英語教育研究センター（CTEC）長田先生が同行し、学生8名が宮城県東松島浜市小学校で復興支援英語教育ボランティアを行いました。2回目となる今回のボランティア活動では、7月に本学で学生ボランティアへの募集を開始し、大学内で長田先生の指導を受け、授業の内容や進め方に関する事前研修を行いました。また、小学校教務主任の渡辺先生と、本学児童英語講師の長田先生が、現地で実施される授業内容の打ち合わせを事前に行い、Eタイムと呼ばれる英語授業の中で、英語教育活動を実施しました。

■ 9月2日(日)～9月5日(水)：福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援

神田外語大学学生9名が福島県三春町立三春小学校と御木沢小学校とで復興支援英語教育活動を行いました。先生方の普段の授業内容を確認し、昨年の活動内容を見直し、三春小学校の遠藤教頭先生と相談しながら、児童英語教育研究センターの指導のもと、教案作成を行いました。何度も事前研修や模擬授業を複数回重ね、ボランティアに臨みました。



宮城県亶理中央児童センターにて英語アクティビティー



三春小学校での英語アクティビティー

■ 11月7日(水)：「2012年度 第2回東日本大震災復興支援ボランティア 報告会」を開催

コメンテーターにイベロアメリカ言語学科ブラジル・ポルトガル語専攻の高木先生をお迎えし、本学のボランティア活動について、広く発表者、参加者と一緒に考えながら進行されました。前半の第1部で法人本部企画部の今村部長より東日本大震災復興教育ボランティアについての概要説明があり、その後東日本大震災復興教育ボランティアに参加した学生による活動報告が行われました。報告会ではこれからの被災地支援について、時期や現地のニーズにできるだけ合わせて様々なボランティア支援をしていく必要がある、と感想を述べました。また、ようやく子供たちと慣れた頃に帰ってしまうことになり、もっと長期間ボランティア活動ができれば良いのではないかとの意見もあり、次年度以降の課題・改善点等もあがりました。



巨理町ボランティアの様子



三春町でのボランティアの様子



荒浜中学校の様子



神田外語大学での報告会の様子

東日本大震災復興支援プロジェクト詳細（2013年度）

■ 第9回幕張チャリティ・フリーマーケット（幕チャリ）

2013年度は幕チャリがすべての方々にとって新たな社会貢献活動の始まり（原点）となるようお願いを込めて、「原点～情熱は世界を変える～」というテーマを掲げました。東日本大震災の被災地となった福島県・宮城県の物産の直販・即売も実施され、震災復興支援として特設した「応援買いエリア」での売上40万円は、被災地へ持ち帰っていただいて復興に役立てていただきました。

2013年度東日本大震災復興教育ボランティア活動報告 8月5日(月)～9月4日(水)

■ 8月5日(月)～8月9日(金)：宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援

宮城県亘理町の児童館（亘理中央児童センター、逢隈児童館、荒浜児童クラブ、吉田児童クラブ、吉田西児童クラブ）にて39名の学生（内 9名は学院生）が英語アクティビティーを実施しました。英語教育活動以外にも夏休み中の子供たちの勉強のお手伝いや外遊びを通して子供たちと触れ合いました。講演会では吉田保育所所長の鈴木先生（震災時：荒浜保育所所長）に震災当時の写真スライドをもとに1時間程の講演をして頂きました。写真で見る荒浜地区の震災直後の様子は、生々しく、学生に強い衝撃を与え、全員が津波の恐ろしさに息を飲みました。震災当日、児童館ではどのような様子で、先生方や子供たちはどのように救出されたかと臨場感あるお話をして頂きました。

■ 9月1日(日)～9月4日(水)：福島県：三春町の小学校における英語教育活動の支援

福島県三春町にて 17名の学生が三春町立三春小学校と三春町立御木沢小学校の 2ヶ所で英語教育活動を実施しました。児童英語教育研究センター（CTEC）河合先生、本多研究員の指導を受け、低学年、中学年、高学年の担当に分かれ、それぞれの学年のレベルに応じた授業を展開しました。講演会ではNPO法人の福島学グローバルネットワークの黒澤理事長、関根事務局長、福島大学国際交流センターの副センター長のマクマイケル・ウィリアム氏（カナダ出身）に英語で講演を実施しました。講演では、福島第一原発による風評被害はもちろん避難者と受け入れコミュニティの対立や分裂された家庭、職を奪われた人々の生きがいの創出など、震災から2年経った現在でも福島には課題が多く残っているというメッセージを学生に伝えてもらいました。また、3日目の講演では、三春小学校の太田文江校長先生、遠藤俊一教頭先生に原発事故による放射線汚染のため外遊びができない子供達が、自ら校内での遊びを企画実践し、復興の原動力となっているというお話をいただきました。



亘理町ボランティア



マクマイケル氏の講演

■ 11月7日(木)：「2013年度 第3回東日本大震災復興支援ボランティア 報告会」を開催

第一部では、福島大学国際交流センターの副センター長のマクマイケル・ウィリアム氏に特別に撮影していただいた動画を放映し、外国人として震災を体験し、被災地福島県の活性化に尽力している状況を英語と日本語を交えて講演していただきました。マクマイケル氏の講演に涙を流しながら聞き入る学生の姿も見受けられ、震災当時の様子や現在も続く放射能の風評被害について改めて考えさせられる非常に有意義な講演会でした。

第二部では宮城県亘理町、福島県三春町での復興教育ボランティアに参加した学生による活動報告会を行いました。現地での講演会や英語アクティビティー内容、ボランティアから学んだことや来年への改善点などを中心に発表しました。発表した学生からは、被災地では震災前と家族形態も変わりつつあり、県外へ避難してしまう方も多くいる現在だからこそ、継続して子供達のところへ赴き「人が戻ってくる」という安心感を与えたいとの声が発表者から多く聞こえました。



三春町での様子



三春町での様子



太田校長先生の講演

東日本大震災復興支援プロジェクト詳細（2014年度）

■ 第10回幕張チャリティ・フリーマーケット（幕チャリ）

福島県天栄村の山の幸や宮城県石巻の海の幸、岩手県の手焼きせんべいなど「震災復興応援買い」を実施し、売上53万円は、被災地へ持ち帰っていただいて復興に役立てていただきました。

■ 幕張チャリティ・フリーマーケットでの英語教育活動とパネル展示

近隣の小学校から1～6年生とその保護者を招き、神田外語大学の芝生にて亘理町、三春町での活動と同様に英語アクティビティーを実施しました。また、昨年の活動のパネル展示を通して、現地の活動の様子、そして復興支援の重要性を伝えました。

【日 程】 5月17日(土)、18日(日) 午前(11:00～12:00)、午後(13:30～14:30)

【場 所】 神田外語大学天然芝

【参加数】 56名（近隣の小学生）

【対 象】 小学校1～6年生（保護者同伴可）

【内 容】 ・英語アクティビティー（英語での色鬼、ジェスチャーつき歌、じゃんけんゲーム等）
・パネル展示昨年のボランティア活動の様子や、現地の被害状況をパネル展示

※アクティビティー以外にも、天栄村にある「道の駅季の里天栄」のテントブースにて物産店のお手伝いを行いました。



■ 8月4日(月)～8月8日(金)：宮城県：亘理町の児童館における英語教育活動の支援

宮城県亘理町の児童館（亘理中央児童センター、逢隈児童館、荒浜児童クラブ、吉田児童クラブ、吉田西児童クラブ）で神田外語大学生29名と神田外語学院生11名が英語教育活動を実施しました。10名の学生コアメンバーが中心となり学生募集、学内外広報、学内イベントを企画・運営し、より学生主体のボランティアプロジェクトに移行しました。

2日目の亘理中央児童センターで行われた震災講演では、荒浜児童クラブの永谷先生に震災当時の様子をスライドを使用しながらご講演していただきました。ちょうど今の大学生4年生と同じくらいの年齢の時に被災されて、子供達全員をいかに安全に避難させ、避難所生活を続けることができたのか等の話を聞きました。いざ自分の身に降りかかった時を想定して日頃から備えるべきであり、今回の震災を他人事と思わず、自分ごととして考えるというメッセージ性の強い貴重なご講演でした。

■ 8月31日(日)～9月5日(金)：福島県：三春町・天栄村の小学校における英語教育活動の支援

2014年8月31日(日)～9月5日(金)の6日間にわたり、福島県三春町・天栄村にて17名の神田外語大学の在籍生が6ヶ所の小学校、1ヶ所の幼稚園で英語教育活動を実施しました。昨年に引き続き、児童英語教育センター（以下、CTEC）の河合先生によるご指導のもと、学生が中心となり授業案を作成し英語教育活

動を行いました。

授業案草案・教材作成・実践指導練習をボランティア活動期間前の事前準備期間・ボランティア期間中・ボランティア終了後の活動報告の全活動において、CTECの河合先生に学生の全面的な指導をして頂きました。事前指導では、小学校の低学年・中学年・高学年向けの3つの授業レベルに分け、昨年も参加した学生を必ず各レベルに配置し、新規に参加する学生をまとめるリーダーの役割を担いました。

事前研修スケジュール

日時	場所	時間	内容
5月23日(金)	2-201	12:40~13:20	【亙理町、三春町・天栄村合同研修】 ・ボランティアの心構え ・児童英語について
6月20日(金)	1-112	16:50~18:20	・授業のテーマ設定
7月4日(金)	1-112	16:50~18:20	・授業内容決定、教材作り
7月18日(金)	1-112	16:50~18:20	・授業案提出、デモンストレーション
7月28日(月)	2-102	12:40~13:20	【亙理町、三春町・天栄村合同研修】 ・当日ボランティアスケジュールの確認 ・活動グループの確定
8月29日(金)	1-206	10:00~15:00	・デモンストレーション



今年は、三春町の三春小学校、御木沢小学校以外に、福島県天栄村の天栄幼稚園、湯本小学校、牧本小学校、大里小学校、広戸小学校での活動も加わりました。特に天栄村教育委員会では、「英語の村てんえい」を宣言し、他にはない天栄村の魅力として子供達の英語環境の充実に努めています。CTEC河合先生の専門的な指導を受けながら計6回的事前研修を実施し、各学年に合ったテーマの設定、授業案の作成、教材作りに取り組み、ボランティア当日は3コマ~4コマほど学生がメインティーチャーとなり英語の授業を進め、英語教科以外の授業のアシスタント等も積極的に行いました。

東日本大震災復興支援プロジェクト詳細（2015年度）

■ 第11回幕張チャリティ・フリーマーケット（幕チャリ）

「TOMODACHI～幕張（ここ）から創る世界の輪～」というテーマで開催しました。売上と寄付金の総額は約132万円となり、このうち震災復興支援の「応援買い」売上約43万円は被災地に持ち帰っていただきました。

■ 幕張チャリティ・フリーマーケットでの英語教育活動とパネル展示

近隣の小学校から1～6年生とその保護者を招き、神田外語大学の芝生グラウンドにて英語アクティビティを実施しました。また、活動報告展示パネルを通して震災当時の様子や復興についても学内外の方々に伝える機会となりました。

【日 程】 5月23日(土)、24日(日) 午前(11:00～12:00)、午後(13:30～14:30)

【場 所】 神田外語大学芝生グラウンド

【参加数】 約20名（近隣の小学生）

【対 象】 小学校1～6年生（保護者同伴可）

【内 容】 ・英語アクティビティ

・パネル展示 昨年のボランティア活動の様子や現地の被害状況をパネル展示

※アクティビティ以外にも、福島県天栄村にある「道の駅季の里天栄」のテントブースにて物産店のお手伝いを行いました。

■ 8月3日(月)～8月7日(金)：宮城県：亶理町の児童館における英語教育活動の支援

2015年8月3日(月)～8月7日(金)までの5日間、神田外語大学生28名、神田外語学院在學生及び卒業生5名が宮城県にある6か所の児童館で復興教育ボランティアを行いました。

今年は高屋児童クラブが新しい活動場所として加わり、亶理中央児童センター、逢隈児童館、荒浜児童クラブ、吉田児童クラブ、吉田西児童クラブにて活動しました。有志の学生団体の「MakeSmile」が中心となり、説明会、事前ミーティング、ボランティア活動日の振り返りミーティング、報告会にいたるまで中心的に企画・運営しました。例年実施している荒浜地区の視察だけでなく、語り部の会の方に実際に震災当時のお話をしていただきながら、津波の被害にあった荒浜地区を巡るツアーを実施しました。学生からは「実際に津波がどこまで来たか、何軒倒壊したか、何人亡くなったかなど、当時荒浜地区で起こったことをたくさん聞きました。悲しい思いを抱くのと同時に、昨年と比べ新しい家が建ち、ゆっくりとではあるけれど復興が進んできている亶理町を感じる事ができました。」との感想もありました。

英語アクティビティでは、「日本だけでなく世界に興味を持ってもらう」ことを大きなテーマとして、アクティビティを実施しました。国ごとにその国ならではのスポーツ、食べ物、民族衣装などの写真を用意し、国と関連付けていくアクティビティなどそれぞれの児童館ごとに内容を工夫していました。

■ 8月30日(日)～9月4日(金)：福島県：三春町・天栄村の小学校における英語教育活動の支援

2015年8月30日(日)～9月4日(金)の6日間にわたり、福島県三春町および天栄村において、英語教育ボランティア活動を実施しました。今年度は、神田外語大学の在學生18名が活動に参加し、幼稚園1か所、公立小学校6校において英語の授業を担当しました。指導案（指導内容）は、ボランティア参加経験者が中心となり、児童英語教育研究センターの河合裕美専任講師の指導のもと、作成・編集しました。学年別の英語学習レベルに合わせ、歌や桃太郎の紙人形、桃の木の成長、道案内などのロールプレイングを通して発話しながら語彙を覚える授業を行いました。

事前研修

	日時	場所	内容
1	5月15日(金)16:30-18:00	1-112	・自己紹介、園児・低学年用歌練習 ・柳沼センター長講話(ボランティアセンター)
2	6月5日(金)16:30-18:00	1-112	・高学年(道案内)教案指導
3	7月3日(金)16:30-18:00	1-112	・年少・年中、中学年、高学年(道案内)教案指導
4	7月17日(金)16:30-18:00	1-112	・高学年教案指導
5	8月28日(金)13:00-18:00	1-112	・授業リハーサル

※事後指導

後期授業開始第1週目の9月18日(金)の16:30~18:00に、参加学生が振り返りや感想を述べ、成果や課題点等を含め、河合先生からの指導を全体で共有しました。



三春町・天栄村での様子



亶理町での様子



三春町・天栄村での様子



幕チャリでの様子

参加学生の声

▶ 2011年 福島県三春町ボランティア参加／国際コミュニケーション学科・3年生

私は福島出身なので、自分の故郷が震災により被災したということで、何か故郷のためにできることがあれば、という気持ちで今回のボランティアに参加しました。実際に参加してみると、自分が子供達に何かを教えることより、子供達からもらったものの方が大きかったと思います。給食を一緒に食べているときに、子供達から「放射能の影響でこれから引っ越さなければならぬかもしれない」「友達がたくさん転校してしまった」など様々な話を聞きました。このような話は、被災地から少し離れたところにいる私たちは、知らない人も多いけど、忘れてはいけなと感じました。今回の経験や子供達から聞いた色々な話を千葉に帰ってから周りの人たちに伝えていきたいと思いました。これから少しずつでも被災地のためになることをしていきたいと思います。

▶ 2012年 宮城県東松島市ボランティア参加／英米語学科・2年生

今回の目標である、「英語の楽しさを伝える」という点では目標達成することができたのではないかと思います。浜市小学校の児童の皆さんとても素直で元気な子供が多かったように思います。今回ボランティアに参加して、こちらが教えるというよりは子供達から「学ぶ」が多かったように思います。今後、今回のボランティアでの経験を活かして、英語教育の在り方、指導の仕方、また自分自身の英語力を高めていきたいと思っています。浜市小学校の先生が被災地に実際に来て、目で見る事が一番の支援だと仰っていました。この3日間で私達にできたことは小さなことでしたが、来年もし機会があれば、また小学校の先生方や子供たちの力になりたいと思っています。

▶ 2013年 宮城県亘理町ボランティア参加／英米語学科・4年生

昨年に引き続き今年も参加した理由は、被災地の子供たちや職員の方に2年経った今も気にかけている人がいるということ伝えたいということ、そして家族や友人を亡くした経験のある方に再会の「安心感」を持ってもらえたら良いと思ったため参加しました。グループのリーダーとして、亘理中央児童センターの先生方とのミーティングの際や授業プラン作成の際にみんなの意見を聞きながら進めることができました。子供達へのサプライズのプレゼント作成の際も、リーダーだけでなく、グループの仲間にそれぞれの役割を割り振り、常に情報交換をして、スムーズに完成までたどり着くことができました。これは、13名のメンバーが各自しっかりした、参加動機、目標意識、そして活動を成功させたいという気持ちがあったからこそ成し得たことです。

▶ 2014年宮城県亶理町ボランティア参加／英米語学科・4年生

今まで被災地の現状を直接見たことがなかったので、実際に現地に行き実際自分の目で確かめて、多くの方々に現状を伝えたいという思いからボランティアの参加を決意しました。震災から3年が経ち、メディアでもあまり報じられなくなってきましたが、実際は被災地というイメージではなく一見すると普通の田舎町に戻っていたことに驚きました。しかし講演会でのお話を聞いて、今自分がいる場所が甚大な被害を受けていた場所だと考えるとテレビやネットで当時の状況を聞くのとはまた違う感覚になり、恐ろしくも感じました。しかし、そのような経験をしたことを感じさせないくらい子供達はみんな元気で明るかったので、私自身も楽しく交流することができました。今回のボランティアを通して、復興支援の面でも英語教育の面でも本当に貴重な体験になりました。

▶ 2015年宮城県亶理町ボランティア参加／英米語学科・3年生

今年で3年目になる東日本大震災復興教育ボランティアですが、昨年「また来年会おうね」「また絶対帰って来てね。」と子供たちと交わした約束を果たすため、そして4年前の震災についても1度自分自身で考え直すために参加しました。今回も子供たちと接する中で、このボランティアは続けることに意味があるのだと心から思いました。月日とともに少しずつ震災を忘れてしまう人が多い中で、こうしてボランティアに参加して現地を感じたこと、学んだことを多くの人に伝えていくことがこのボランティアの一番の意義なのだと思います。



三春町・天栄村ボランティア



亶理町ボランティア

ふくしまサクラモリプロジェクト

「ふくしまサクラモリプロジェクト」とは、福島県の「さくら」を国内外の至るところで咲かせ、そして守り「ふくしま」を身近に感じていただくと同時に、多くの街と福島・東北を繋ぐ「絆」を築くことを目的に設立したプロジェクトです(主催:一般社団法人 福志会)。内藤慎介氏(株式会社NHKエンタープライズ)が本学で講演会および震災復興に関するドキュメンタリー映画上映会を開催したことを機に本学もプロジェクトに参加させていただくことになりました。2015年の夏には、3名の本学学生が同志社大学の学生1名と一緒に福島県の震災状況の視察に参加しました。学生は、今なお風評被害の影響を受けている地域を視察し、福島の復興のためになにか力になれないかと動き出しています。今後は、本学の復興教育のボランティア団体「MakeSmile」のプロジェクトの一環として活動していく予定です。



福島は、あなたに、どのように映っていますか？
～映像を通して、景色を感じて欲しい～

NHK大河ドラマ「八重の桜」プロデューサー
内藤 慎介氏 講演&映画上映会



22:00～総合
さくらを見守る人
サクラモリ
植木を見守る人

**申込み不要
参加無料**

日時 **6月30日(火)**
16:30～19:00
場所 **神田外語大学
クリスタルホール**

● 講演者
内藤 慎介氏(ないとう しんすけ)
【株】NHKエンタープライズ
制作本部長・ドラマ番組部
エグゼクティブプロデューサー
映画作品
連続テレビ小説「布っこの金メダル」「系、ふたり」「先生にようほい」、
大河ドラマ「八代将軍吉宗」ほか、特撮ドラマ「とせんとんぼろ通り」
プロデューサー作品
連続テレビ小説「オードリー」「とんとん晴れ」、大河ドラマ「天地人」(エランドール演、エランドールプロデューサー賞)
番組時代劇「春が来た」、連続ドラマ「真夜中は別の顔」「女将になりませう!」「ブルー・もしくはブルー」、特撮ドラマ「シェンザード」
「まきとれ」「さよなら、アルマ～軍艦をもらった女～」ほか
大河ドラマ「八重の桜」、ドキュメンタリー「指をきいて」「LIVE, LOVE, SING～生きて、愛して、歌うこと～」本番組時代劇「かぶを若殿次」など

企画:佐野学園法人本部
主催:神田外語大学 ボランティアセンター



Fiesta Mexicana in Odaiba, Tokyo フィエスタ・メヒカーナ in お台場(東京)

メキシコの独立記念日(9月16日)を祝って、毎年、9月に東京・お台場(フジテレビ前広場)で開催される世界的規模のイベントです。メキシコの文化・芸術・音楽・芸能と食文化を通して、メキシコと日本の友好の輪を広げ、日墨の文化交流を促進することを目的としています。1995年に大阪・梅田において、メキシコ領事館主催の第1回フィエスタ・メヒカーナが開催され、本年2015年度で16周年を迎えます。本年第16回フィエスタ・メヒカーナは9月19日(土)・20日(日)・21日(月)にお台場で開催されました。

2000年度開催のフィエスタ・メヒカーナに柳沼ゼミ(ラテンアメリカ地域文化研究ゼミ)の有志がボランティア活動に参加、その後、活動範囲の拡大に伴い「ボランティアグループ」が組織され、本学の松井健吾先生とシルビア・ゴンサレス先生、そして後藤先生(早稲田大学)が参加、2013年度から「神田外語大学・早稲田大学ボランティアグループ」としてボランティアグループ・リーダーのもとイベント運営に携わっています。

ボランティア参加人数は例年3日間で延べ100名を超えますが、その活動内容は、①イベント案内(ピラ配り)、②各種イベント運営のサポート、③御宿町ブースのサポート、④場内クリーン運動(ゴミ拾い)などです。最も重要な活動は④場内クリーン運動ですが、またとない機会ですから、スペイン語を駆使し、メキシコの音楽(マリアッチ)と食文化(タコスとテキィラ)そしてメキシコプロレス(ルチャ・リブレ)、ピニャータ割り等々、メキシコ文化を堪能しながら、ボランティア活動に汗を流して、充実した有意義な数日を皆さんと共有できればと願っています。教職員そして多くの卒業生の皆さんも来場されます。



○詳しくは <http://www.fiestamexicana-tokyo.com/>



■ グアダハラ大学（メキシコ）主催 「日本文化週間2014」に協力・参加

本学と学術協定を締結するグアダハラ大学（Universidad de Guadalajara: UDG）において、同じく本学と学術協定を締結するグアダハラ自治大学（Universidad Autónoma de Guadalajara: UAG）協賛のもと、「日本文化週間」が2014年5月24日～31日にわたって開催されました。

今回の「日本文化週間」開催にあたってグアダハラ大学より日本語を学ぶ学生のための図書寄贈の要望があり、ボランティアセンターが中心となって学内において図書提供を呼びかけ、長田学事部長から図書目録がUDG図書館に提示されました。

メキシコ第二の都市グアダハラは、温暖な自然環境と風光明媚な土地柄そして豊かな文化環境から「バラの都」（Ciudad de Rosas）とも称され、ヌエバ・エスパーニャ（Nueva España：「新スペイン」の意味）と呼ばれていたスペイン植民地統治時代から「文化の都」として栄えてきました。グアダハラはまた京都と姉妹都市関係にもあることから「メキシコの京都」として広く親しまれる観光都市であり、日本とメキシコの友好を象徴する都市でもあります。今日では、2005年に発足した日墨経済連携協定（日墨EPA）の中軸をなす農業および自動車産業部門を担う中心地として飛躍的な発展を遂げています。

今回の「日本文化週間」は、2013年11月にUDGが主催した『日本メキシコ交流400周年記念国際シンポジウム』に続いて（同シンポジウムには本学から柳沼先生（講演者）と長田部長が参加）開催されたもので、1614年に支倉常長慶長遣欧使節がメキシコ太平洋岸のアカプルコ港に到達して400周年になるのを記念してこの「文化の都」にて挙行されたイベントであります。第13代支倉常隆氏の特別招待参加のもと、以下の各種イベントが各会場で開催され、多くの中央政府・ハリスコ州政府・大学関係者、本学留学生および本学留学経験者を含む学生、一般市民、日系人が参加しました（添付の「日本文化週間」ポスターおよびプログラム、関連の写真を参照）。



学生国際フォーラム集合写真



「日本文化週間」ポスターとプログラム

日本文化週間プログラム

5月26日(月)：

- レセプション「支倉常長400周年：日本とメキシコ 友好の歩み」
- ハリスコ州立図書館長講演会「メルチョール・オヤングレン著『日本語文法書』(Melchor Oyaguren “Gramática Japona”, 1738年発行)のデータ資料」
- 「俳句」コンクール：発表会および表彰式

5月27日(火)：

- 経済フォーラム「日本とハリスコ州経済産業の関係について」
在メキシコ日本大使、ジェトロ・メキシコ (JETRO México)、ジャイカ・メキシコ (JICA México)、神田外語大学、ハリスコ州経済産業関係者が参加。
- 空手などの古武道演武

5月28日(水)：

- 茶会：第13代支倉常隆氏臨席のもと、グアダラハラ市郊外に位置する、京都府が寄贈した日本庭園 Bosque Los Colomos (ボスケ・ロス・コロモス) において開催される。本学留学生もアシスタントとして参加。
- 琴演奏会

5月29日(木)：

- 「第2回 日本メキシコ交換留学生国際フォーラム」(II. Foro Internacional de Estudiantes de Intercambio México - Japón)：KUIS / UDG / UAGの交換留学生、教職員、一般学生、神田外語大学(柳沼先生、長田部長)が参加。
並行して、本学からの「漫画本寄贈式」が行われ、長田学事部長から挨拶と寄贈書籍目録が提示された
- 日本祭り(ジャパン・フェスティバルFestival Japonés)：寄贈漫画本展示即売会、折り紙教室、日本食試食販売、将棋実演会、盆踊り大会

5月30日(金)：

- 日墨(日本メキシコ)経済交流懇談会
- UDG研究雑誌特別号発表会(Número especial de la Revista, “México y la Cuenca del Pacífico - Especial sobre Japón”)：特別号刊行の紹介が行われ、柳沼先生が出席、掲載論文“Trasfondo histórico del envío del embajador Hasekura a España y la Nueva España en 1614”(1614年の支倉使節のスペインおよびヌエバ・エスパーニャ派遣にまつわる歴史的背景)についてプレゼンテーションを行った。
- 映学会：日本映画『里見八犬伝』および『茶々』を上映。



国際協力・国際開発ボランティア

国際協力・国際開発ボランティアとは

国際教育交換協議会（CIEE）^{注1}のボランティアプログラムを通して夏季・春季に海外でのボランティア活動を行っています。このプロジェクトでは、言語や文化の異なる人々と協力し合いながら活動する中で「世界の諸問題に目を向け、問題解決に向けて主体的に行動する力」と「国際社会で通用するコミュニケーション能力」を養います。海外でのボランティア活動を通して、幅広い視野を持つグローバル人材の育成を目指します。

注1) 国際教育交換協議会とはアメリカに本部を持つ非営利教育団体です。

「TOEFLテスト日本事務局」としてTOEFLテスト公式情報を発信しています。

「国際ボランティア・プロジェクト」に2週間以上参加した学生に対し、4つの課題をこなすことを条件に「国際ボランティア体験」という科目名で、2単位を認定しています。

「Give and Take、 与えるものと得るもの」

イペロアメリカ言語学科准教授
(CIEE海外ボランティア単位認定教員)

高木 耕



国際協力の世界でよく使われる表現に「魚を与えるのではなく魚の釣り方（捕り方）を教える」というものがあります。大学教育も似たようなものであり、学生は教室で学んだことを自ら実践して経験を積まなければなりません。義務教育が「道具箱を道具でいっぱいにする期間」であるとするならば、大学の4年間はまさに「その道具を使って何ができるのかを学ぶ期間」であると言えます。

国際ボランティアは、外国を知り、外国人と交流し、異文化に触れる絶好の機会となっています。多くの学生は「自分には何ができるのか」を自問自答し、時には行動を起こすことに躊躇します。たしかに、経験がそれほど豊富でない人にできることは限られているでしょう。しかし、魚はそれを捕りにいかなければ手に入れることはできないのです。だれかが何かを始めなければ世界は変わりません。

外国へ行って初めて見えてくるものがあります。多くの学生が、「国際ボランティアを通じて与えられたことよりも得られたことのほうが多い」と言います。社会貢献の仕方を学び、実践し、実践を通じてまた学ぶ。こうした成長を日々続けていくことは意味のある生き方であると思います。まず、「自分にできること」を見つけ、徐々にできることを増やしていきましょう。

主な取り組み

◆ 国際ボランティアプロジェクト（オランダ、メキシコ、アイスランド、ドイツなど）



オランダで、植林活動や森林公園の保全などの環境保護活動や古城の修復、ペンキの塗り替え、地域イベントの企画・運営を行いました。

1プロジェクト15名前後で構成され、ドイツ、スペイン、韓国、トルコ、ポルトガルなど様々な国から集まったボランティアとともに共同生活をしながら、活動を実施しました。

◆ 教師アシスタントボランティア（アメリカ）



教師アシスタントとして現地でホームステイをしながら、小学校にて教材準備のお手伝いや授業中の児童のサポートを行いました。授業の中で、1時間ほど時間をもらい、日本の文化や言語の紹介をしました。子供達は日本の文化に興味津々で、自ら鶴の織り方など聞いてくる子供もいました。

◆ 日本語教師アシスタント



インドネシアの高校で、ホームステイをしながら日本語クラスで日本語や日本の文化を教えました。

高校だけではなく現地の大学においても「異文化理解」の授業内で、日本についてのプレゼンテーションを実施し、日本の現代文化などを中心に教えました。

※上記3つの海外ボランティアはCIEEの海外体験プログラムであり、ヨーロッパ・北中米・アジアの約30カ国で800のプロジェクトから学生が選び、参加します。

2011年度実績

■ 2011年度ボランティア実績一覧

※分類 A：スポーツ通訳・国際大会 B：地域貢献・国際交流 C：国際協力・国際開発

No	案件	カテゴリ	期間	人数	内容
1	世界エアロビック選手権大会	A	4月6日～7日	7	通訳・語学ボランティア
2	ブラインドサッカー国際親善試合	A	3月20日～3月25日	2	通訳・語学ボランティア
3	日韓親善車椅子バスケットボール交流戦	A	5月11日～12日	5	通訳・語学ボランティア
4	アジアサッカー連盟フットサルクラブ選手権	A	8月24日～9月1日	3	通訳・語学ボランティア
5	東京-ソウル親善サッカー定期戦2013	A	8月26日～30日	2	通訳・語学ボランティア
6	日米子供野球交流戦	A	10月26日	4	通訳・語学ボランティア
7	アジアサッカー連盟フットサルクラブ選手権	A	12月	2	通訳・語学ボランティア
8	bjリーグ2011-2012シーズンオールスター戦	A	1月14日～15日	4	通訳・語学ボランティア
9	日本ハンドボールリーグ プレーオフ	A	3月10日～11日	2	通訳・語学ボランティア
10	日米子供野球交流大会	A	3月24日	4	通訳・語学ボランティア
11	日米子供野球交流大会	A	3月31日～4月1日	1	通訳・語学ボランティア
12	東京国際7人制ラグビー大会	A	3月31日～4月1日	2	通訳・語学ボランティア
13	インドネシア人介護福祉士 通訳ボランティア（賃金有）	B	6月	1	インドネシア人介護福祉士の研修における 通訳ボランティア
14	ショートショートフィルムフェスティバル	B	6月10日～20日	3	海外から来場する監督やフィルムメーカーの 成田空港ピックアップから会場のアテンド。 会場の運営サポートや通訳業務
15	千葉市教育センターボランティア	B	7月	1	不登校の子供たちの不安や悩みを解消し、 学校生活への復帰を支援
16	Tomisato English Camp	B	7月	1	小学校（高学年）を対象とした英語キャンプ時の （英語）ボランティア
17	成田空港案内ボランティア	B	夏・冬期休暇	43	成田国際空港のターミナル内でお客様のご案内と 外国人お客様の言語サポート
18	東日本復興教育ボランティア （宮城県東松島）	B	8月21日～8月27日	21	仮設住宅集会所（3箇所）を利用して、 小学校5/6年生を対象とした英語アクティ ビティー及び個別学習サポート
19	東日本復興教育ボランティア （宮城県女川町）	B	8月29日～9月2日	15	仮設住宅集会所にて、小学生には英語アク ティビティーを、中学生には放課後の英語 学習をサポート
20	幕張南小学校ニュージーランド交流会	B	9月	20	幕張南小学校にておこなうNZ交流会時の 通訳ボランティア
21	横浜世界トライアスロン大会	B	9月	1	大会における通訳・語学ボランティア
22	技能五輪国際大会	B	9月、10月	1	大会における通訳・語学ボランティア
23	東日本復興教育ボランティア（福島県三春町）	B	9月4日～8日	6	御木沢小・三春小にて英語活動を実施
24	東日本復興教育ボランティア （宮城県南三陸町）	B	9月5日～10日	21	小・中学校での「英語」及び他教科授業の サポート及び放課後の個別学習サポート
25	僕たちの街紹介マップ作り	B	11月19日、12月3日	7	幕張新都心に住む外国人の為に地元の子供 たちと共に地域のマップを作成
26	僕たちの街紹介マップ作り	B	1月7日	7	幕張新都心に住む外国人の為に地元の子供 たちと共に地域のマップを作成
27	国際ボランティアプロジェクト	C	夏期休暇中2週間程度	10	行先により異なる
28	エコ・ボランティア	C	夏期休暇中2週間程度	5	環境保護活動等
29	ボランティア&ホームステイ	C	夏期休暇中2週間程度	8	行先により異なる
30	国際ボランティアプロジェクト	C	夏期休暇中2週間程度	2	行先により異なる
31	エコ・ボランティア	C	夏期休暇中2週間程度	3	環境保護活動等
32	ボランティア&ホームステイ	C	夏期休暇中2週間程度	6	行先により異なる
33	アジア・ボランティア	C	夏期休暇中2週間程度	2	教育支援等
			計	222	

2012年度実績

■ 2012年度ボランティア実績一覧

※分類 A：スポーツ通訳・国際大会 B：地域貢献・国際交流 C：国際協力・国際開発

No	案件	カテゴリ	期間	人数	内容
1	トライアスロンアジア選手権	A	4月7日～8日	20	通訳・語学ボランティア
2	世界エアロビック選手権	A	4月21日～22日	14	通訳・語学ボランティア
3	JFAアジア貢献事業 中国視察団関係者	A	4月22日	1	通訳・語学ボランティア
4	bjリーグ2012シーズンプレイオフファイナル4	A	5月19日～20日	2	通訳・語学ボランティア
5	ロンドンオリンピックバレーボール 最終予選会（女子）	A	5月19日～27日	25	通訳・語学ボランティア
6	ロンドンオリンピックバレーボール 最終予選会（男子）	A	6月1日～10日		通訳・語学ボランティア
7	習志野市・タスカルーサ市姉妹都市 スポーツ交流会	A	6月16日	5	通訳・語学ボランティア
8	日韓女子サッカーU14代表交流戦	A	6月17日～22日	1	通訳・語学ボランティア
9	日韓アメリカンフットボールクラブ交流戦	A	6月23日～24日	1	通訳・語学ボランティア
10	FIFA女子U-20サッカーワールドカップ	A	8月25日～9月8日	20	通訳・語学ボランティア
11	JFAアジア貢献事業 モルジブU-20代表①	A	9月5日～6日	1	通訳・語学ボランティア
12	JFAアジア貢献事業 モルジブU-20代表②	A	9月13日～14日	1	通訳・語学ボランティア
13	国際アイスホッケー連盟4年次総会	A	9月24日～30日	20	通訳・語学ボランティア
14	JFAアジア貢献事業 韓国女子U-15代表	A	11月12日～23日	1	通訳・語学ボランティア
15	世界ジュニアバドミントン選手権大会2012千葉	A	10月20日～11月4日	54	通訳・語学ボランティア
16	グランドスラム柔道 東京大会	A	11月30日～12月2日	4	通訳・語学ボランティア
17	FIFAクラブワールドカップジャパン	A	12月5日～16日	26	通訳・語学ボランティア
18	WTTCグローバルサミットボランティア	B	4月中旬	5	羽田空港および成田空港でのVIP誘導や案内
19	幕張クリーンデー（春）	B	6月中旬～	15	海浜幕張駅周辺の清掃
20	Tomisato English Camp	B	7月下旬	2	小学校（高学年）を対象とした英語キャンプ時の（英語）ボランティア
21	東日本復興教育ボランティア（巨理町）	B	8月7日～11日	13	宮城県巨理町の児童センターで、小学生を対象に英語アクティビティを実施
22	東日本復興教育ボランティア（東松島）	B	8月28日～9月1日	8	浜市小学校で1～6年生を対象に英語活動を実施
23	幕張南小学校NZ交流会	B	9月27日	25	幕張南小学校にておこなうNZ交流会時の通訳ボランティア
24	東日本復興教育ボランティア（三春町）	B	9月2～5日	9	御木沢小・三春小にて英語活動を実施
25	恐竜王国2012	B	9月23～27日	9	恐竜王国の運営ボランティア
26	幕張メッセ新能	B	9月25日	17	受付、誘導、案内のボランティア
27	恐竜王国2012撤収作業チーム サポートボランティア	B	9月下旬	8	中国およびアメリカから撤収のために来日した方の通訳観光アテンド
28	IMF世銀総会学生ボランティア	B	10月上旬～	2	総会に参加する各国代表団に随行し、代表団を会議期間中サポート・会場での誘導・運営ボランティア
29	Sports for smile	B	10月上旬～	20	IMF世銀総会のサイドイベント。参加者アシストおよび一緒にスポーツを楽しむ
30	幕張クリーンデー（秋）	B	10月11日	25	海浜幕張駅周辺の清掃
31	幕張新都心公開セミナーボランティア	B	11月8日	3	会場への誘導
32	帰宅困難者訓練	B	11月9日	2	帰宅困難者対策訓練に参加
33	幕張南小学校まなびフェスタ	B	11月17日	26	小学生向けに様々な講座を学生が担当する。（フラメンコ、フラダンス、英会話）

No	案件	カテゴリ	期間	人数	内容
34	日韓合同山岳写真ボランティア	B	11月26日、27日	3	写真展での通訳ボランティア
35	幕張クリーンの日	B	11月	1	幕張新都心周辺の清掃ボランティア
36	全国高校生英語ディベート大会 in 千葉	B	12月15、16日	4	会場への誘導、タイムキーパーなどの運営ボランティア
37	日本語学校への広報ボランティア	B	6月～9月	11	職員の引率のもと日本語学校の留学生に神田外語大学の紹介をする
38	絵本「ありがとうの約束」の翻訳	B	6月11日	9	絵本「ありがとうの約束」の翻訳。インドネシア語・タイ語・ベトナム語・中国語（北京・広東）
39	千葉市立打瀬小学校 交流会	B	6月20日	7	スポーツ・文化・音楽・遊びなど小学校であらかじめテーマを決め、留学生と交流する
40	千葉市立打瀬小学校 交流会	B	7月4日	8	スポーツ・文化・音楽・遊びなど小学校であらかじめテーマを決め、留学生と交流する
41	はとバスモニター	B	7月7日	22	はとバスに搭載する4ヶ国語案内システム（英・中・韓・スペイン）のモニター試乗とマスコミに対するニュースリリース
42	A・Power Now政府主催のインタビューに参加	B	7月13日	2	2010年10月以降に来日し、2011年の大震災を経験した20歳以上の外国人としてのインタビュー
43	学内 留学生オープンキャンパス	B	8月22日～24日 8月27日～31日	3	教室で待機し、オープンキャンパスに来た留学生の質疑応答
44	千葉市立幕張南小学校	B	11月14日	8	小学校3年生の「総合学習」で、食べ物や遊び、文化についての発表や質疑応答
45	千葉市立打瀬中学校	B	11月21日	12	スポーツ・文化・音楽・遊びなど小学校であらかじめテーマを決め、留学生と交流する
46	幕張いもっこ保育園	B	12月20日	1	同保育園に欧米人の男子留学生をサンタクロースとして派遣
47	国際ボランティアプロジェクト	C	夏期休暇中2W程度	17	行先により異なる
48	エコ・ボランティア	C	夏期休暇中2W程度	4	環境保護活動等
49	ボランティア&ホームステイ	C	夏期休暇中2W程度	9	行先により異なる
50	ティーチャーアシスタント	C	夏期休暇中2W程度	1	教育支援等
51	国際ボランティアプロジェクト	C	春期休暇中2W程度	1	行先により異なる
52	エコ・ボランティア	C	春期休暇中2W程度	1	環境保護活動等
53	ボランティア&ホームステイ	C	春期休暇中2W程度	2	行先により異なる
54	アメリカ・ボランティア	C	春期休暇中2W程度	2	教育支援等
			計	513	

2013年度実績

■ 2013年度ボランティア実績一覧

※分類 A：スポーツ通訳・国際大会 B：地域貢献・国際交流 C：国際協力・国際開発

No	案件	カテゴリ	期間	人数	内容
1	世界エアロビック選手権大会	A	4月6日～7日	7	通訳ボランティア
2	日韓親善車椅子バスケットボール交流戦	A	5月11日～12日	5	通訳ボランティア
3	アジアサッカー連盟（AFC） フットサルクラブ選手権	A	8月24日～9月1日	3	通訳ボランティア
4	東京-ソウル親善サッカー定期戦2013	A	8月26日～30日	2	通訳ボランティア
5	日米子供野球交流戦	A	10月26日	4	通訳ボランティア
6	Jリーグアジア貢献事業	A	12月7日～8日	3	通訳ボランティア
7	Jリーグアジア貢献事業	A	12月10日、17日		通訳ボランティア
8	海外スポーツ通訳ボランティア（豪州）	A	1月22日～25日	1	通訳ボランティア
9	国際7人制ラグビー-2014東京大会	A	3月22日～23日	4	通訳ボランティア
10	世界フィギュアスケート選手権大会2014	A	3月24日～29日	3	通訳ボランティア
11	成田空港ボランティア（TICAD V）	B	5月28日～6月1日	18	成田空港にて、アフリカ開発会議関係の政府関係者を出迎え、空港案内や交通機関手配等のサポート
12	幕張クリーンデー（春）	B	5月30日	10	幕張新都心周辺の清掃活動
13	第9回幕張チャリティ・フリーマーケット （神田外語大学CUP）	B	5月18日、19日	200	幕張チャリが新たな社会貢献活動の原点となるよう「原点～情熱は世界を変える～」というテーマを掲げ開催。（2日間で約2,800名）
14	幕張チャレンジトライアスロン	B	6月8日・9日	35	幕張チャレンジトライアスロンにて、会場設営、荷物あずかり、選手の給水、観客誘導
15	千葉市ゴミ減量ボランティア	B	通年	8	千葉市と千葉市の大学が協働で、ゴミの減量化を目的とした、インカレの学生ボランティア組織を結成。年間通して清掃活動やゴミ軽減イベント等に参加
16	成田空港案内インターン・ボランティア	B	7月12日～9月30日	22	成田国際空港のターミナル内でお客様のご案内と外国人お客様の言語サポート
17	Tomisato English Camp	B	8月4～5日	1	小学生を対象とした英語キャンプの活動補助
18	東日本大震災復興教育ボランティア （宮城県亘理町）	B	8月5日～9日	30	宮城県亘理町の児童センターで、小学生を対象に英語アクティビティを実施
19	東日本大震災復興教育ボランティア （福島県三春町）	B	9月1日～4日	17	御木沢小・三春小にて英語教育活動を実施
20	千葉市海浜アクアスロン大会	B	9月7日・8日	13	千葉市海浜アクアスロン大会にて、会場設営、選手の給水、誘導
21	台湾ファミツアー	B	9月9日	5	モニタリングツアーで来日している台湾大学生へ千葉の魅力を発表
22	東京ゲームショウ	B	9月19日～22日	8	幕張メッセで開催される東京ゲームショウの通訳ボランティア。日本電子専門学校ブースにて外国人のお客様と専門学生の間でゲーム説明等の通訳
23	幕張南小学校ニュージーランド交流会	B	9月27日	28	幕張南小学校にて行うニュージーランド交流会時の通訳
24	幕張クリーンデー（秋）	B	10月11日	6	幕張新都心周辺の清掃活動
25	磯辺小学校国際文化交流会	B	10月30日	9	神田外語大学の留学生が磯辺小学校で国際文化交流を体験
26	幕張南小学びフェスタ	B	11月16日	20	幕張南小学校にて体験型授業（英会話やダンス等）を行う
27	イオン植樹祭	B	11月17日	55	イオンモール幕張新都心店にて植樹ボランティア

No	案件	カテゴリ	期間	人数	内容
28	Bali&Kanaya International Art Week	B	12月3日～8日	13	富津市金谷にて、バリから来日した子供達へ地元の方々と日本の伝統文化を伝える国際交流イベントに通訳として参加
29	イオンモール幕張新都心のオープニングイベント	B	12月19日	8	12月19日のイオンモール幕張新都心店のオープニングセレモニーでの吹奏楽団による演奏
30	イオンモール幕張新都心のイベント公演	B	2月19日	4	本学のステップイン（ダンスサークル）、ラムタイ（タイ伝統舞踊サークル）がイオンモール幕張新都心でイベント公演
31	千葉県ガイドラリー	B	2月9日～14日	4	千葉県の訪日旅行推進の為、タイ王国大学生のモニタリングツアーを開催。その際、タイの大学生とチームを結成し、観光クイズを競う「千葉県ガイドラリー」に参加
32	美浜図書館読み聞かせボランティア	B	3月8日	3	美浜図書館にて英語と中国語での絵本読み聞かせボランティアに参加
33	第42回技能五輪国際大会 （ドイツ・ライブティヒ大会）	C	6月28日～7月7日	3	技能五輪国際大会（ドイツ・ライブティヒ大会）にて、日本代表選手とその種目の日本代表監督の通訳および翻訳
34	国際ボランティアプロジェクト （フランス、イタリア、ドイツ、オランダ等）	C	夏期休暇中2W程度	21	かまど修復、イベント企画運営、グラウンドの改善作業
35	オセアニア・環境保護	C	夏期休暇中2W程度	5	植林や遊歩道整備などの環境保護活動
36	オセアニア・幼稚園	C	夏期休暇中2W程度	8	幼稚園の先生のサポート
37	ボランティア&ホームステイ	C	夏期休暇中2W程度	9	幼稚園の先生のサポート
38	ベトナム・ボランティア	C	夏期休暇中2W程度	2	孤児院や児童養護施設で生活する方々との交流
39	インドネシア・ボランティア	C	夏期休暇中2W程度	2	地元の高校や大学で日本語や日本文化の授業を補助
40	カナダ・ボランティア	C	夏期休暇中2W程度	3	フードバンクやリサイクルショップでのお手伝い、動物保護
41	アメリカ・ボランティア	C	夏期休暇中2W程度	1	バイリンガル教育を行う現地校で日本語クラスサポート
42	アメリカ・ティーチャーアシスタント	C	夏期休暇中2W程度	2	小学校でアメリカ人教師のアシスタント
43	国際ボランティアプロジェクト （インドネシア、アイスランド）	C	春期休暇中2W程度	3	ドミトリーの修復作業、プロジェクトの企画運営
44	オセアニア・ボランティア	C	春期休暇中2W程度	1	幼稚園の先生のサポート
45	ベトナム・ボランティア	C	春期休暇中2W程度	1	孤児院や児童養護施設で生活する方々との交流
46	インドネシア・ボランティア	C	春期休暇中2W程度	1	地元の高校や大学で日本語や日本文化の授業を補助
47	カナダ・ボランティア	C	春期休暇中2W程度	2	フードバンクやリサイクルショップでのお手伝い、動物保護
48	アメリカ・ボランティア	C	春期休暇中2W程度	2	バイリンガル教育を行う現地校で日本語クラスサポート
			計	615	

2014年度実績

■ 2014年度ボランティア実績一覧

※分類 A：スポーツ通訳・国際大会 B：地域貢献・国際交流 C：国際協力・国際開発

No	案件	カテゴリ	期間	人数	内容
1	2014世界エアロビック選手権大会	A	4月12日～13日	6	選手対応とKNT（近畿日本ツーリスト）のアシスタント業務
2	世界卓球選手権、2014東京大会	A	4月27日～5月1日	32	オフィシャルデスクとして大会関係者・選手団の受付や窓口対応、VIP対応の通訳業務
3	フェンシングワールドカップ2014東京大会	A	5月2日～4日	10	選手対応通訳と会場誘導
4	Jリーグジェフユナイテッド千葉 韓国選手への通訳ボランティア	A	5月18日～8月31日	3	Jリーグジェフユナイテッド千葉にて活躍する韓国代表選手の試合終了後のメディア対応通訳
5	日本文化人類学会国際研究大会 通訳ボランティア	A	5月18日～18日	9	日本文化人類学会50周年記念国際研究大会にて受付、セッション会場のアシスタント、セッション内容の記録、音声機器や照明の調整、会場案内
6	第99回国際キワニス年次総会 通訳ボランティア	A	7月16日～17日	6	海外からの参加者に対する受付、会場案内、日本文化体験ブースでの通訳業務
7	ラグビートップリーグ「クボタスピアーズ」	A	8月	3	ラグビーチーム「クボタスピアーズ」の選手のご家族の日本語の習得と日常生活のサポート
8	リアル・マドリッド・ジュニアキャンプ	A	8月	3	ジュニアキャンプでの通訳ボランティア
9	カラテドリームカップ2014国際大会	A	8月23日、24日	9	大会運営、会場誘導の通訳ボランティア
10	アジア貢献事業	A	9月19日～23日	2	大会運営通訳ボランティア
11	2014ジャパンウィールチェアラグビー	A	10月7日～13日	3	大会運営、会場誘導の通訳ボランティア
12	国際法曹協会国際会議 通訳ボランティア	A	10月18日～24日	11	国際法曹協会国際会議にて会場案内、誘導の通訳
13	ちばアクアラインマラソン2014	A	10月19日	19	大会運営、会場整備、選手誘導のボランティア
14	高円宮牌WC東京大会2014フェンシング男子 フルレ団体戦グランプリ大会	A	11月7日～9日	15	用具検査の立会いやドーピングコントロール対応の業務において通訳ボランティア
15	IBSAブラインドサッカー世界選手権2014	A	11月16日～24日	14	障害者の方へサービスを提供するリレーションセンター、選手団対応、大使館の方のアテンド、入場受付、会場整備等、多岐に渡り業務
16	2014世界サンボ大会	A	11月21日～23日	7	VIP対応、送迎アテンド、場内受付・IDコントロール、選手エスコートの通訳業務
17	2015世界エアロビック選手権大会 運営インターンシップ	A	3月2日～4月5日	6	大会事務局にて備品（タグ、Diploma等）作成、書類の準備業務作業、荷物詰め等大会準備全般業務及び大会当日の通訳ボランティア
18	国連防災世界会議 案内通訳ボランティア（予定）	B	3月9日～15日	3	仙台で開催される世界防災会議の各国参加者への交通機関、観光案内、通訳ボランティア
19	Color Me RAD（ランニングイベント） 運営ボランティア	B	4月19日	22	ランニングイベントにて、受付や会場案内のボランティア
20	第10回幕張チャリティ・フリーマーケット （神田外語大学CUP）	B	5月17日～18日	110	学生ボランティア団体「神田外語大学CUP」を中心に有志のボランティア学生が集まりチャリティーフリーマーケットを開催。（2日間で約2,000名）
21	幕張新都心クリーンの日 清掃ボランティア	B	5月27日	10	幕張新都心周辺の清掃ボランティア
22	幕張チャレンジトライアスロン 運営ボランティア	B	6月7日～8日	20	幕張チャレンジトライアスロンにて、会場設営、荷物預かり、観客誘導等のボランティア
23	国際交流基金プログラム 国際交流ボランティア	B	6月8日	4	「中東グループ招へいプログラム」に参加し、GCC諸国のアラブ首長国連邦及びカタールの若者と「GCC諸国と日本の将来」についてディスカッション
24	AEP（5大学連携）アテンドボランティア	B	6月23日～7月6日	5	5大学協働のサマーセッションにて留学生を受け入れ国際交流、多文化理解のため日本文化紹介や東京観光に関するプレゼン、グローバルキャンプへ参加
25	磯辺小学校 国際交流ボランティア	B	7月2日	6	本学の留学生6名が磯辺小学校の国際交流会にて出身国について発表、文化交流
26	日本橋三越本店出張文化祭 通訳ボランティア	B	7月5日～6日	13	本学学生が授業で企画をした出張文化祭にて、各言語での店内ツアーや短冊に各言語で願ごとを記入するお手伝い
27	東日本大震災復興教育ボランティア （宮城県 亘理町）	B	8月4日～9日	29	宮城県亘理町の児童センターで、小学生を対象に英語アクティビティを実施
28	台湾ファミツアー 運営ボランティア	B	8月27日	2	モニタリングツアーで来日している台湾大学生へ千葉の魅力を発表
29	東日本大震災復興教育ボランティア （福島県三春町・天栄村）	B	8月31日～9月5日	17	福島県三春町・天栄村の小学校及び幼稚園にて英語教育活動を実施

No	案件	カテゴリ	期間	人数	内容
30	東京ゲームショウ 通訳ボランティア	B	9月18日～21日	4	幕張メッセで開催される東京ゲームショウの通訳ボランティア。日本電子専門学校のブースにて外国人のお客様と専門学生の間でゲーム説明等の通訳
31	アクアスロン 運営ボランティア	B	9月6日、7日	16	アクアスロンにて、会場設営、荷物預かり、観客誘導等の運営補助ボランティア
32	幕張南小学校ニュージーランド交流会通訳ボランティア	B	9月25日	31	幕張南小学校にて行うニュージーランド交流会時の通訳ボランティア
33	幕張新都心クリーンの日 清掃ボランティア	B	10月10日	9	幕張新都心周辺の清掃ボランティア
34	2014年ミスインターナショナル文化交流ボランティア	B	11月1日	8	ミスインターナショナルの日本橋周辺の観光及び体験ツアーに同行し通訳
35	美浜図書館絵本読み聞かせボランティア	B	11月15日	2	美浜図書館で開催された「子供読書まつり」で英語で絵本の読み聞かせ
36	幕張南小学校学びフェスタ	B	11月15日	14	幕張南小学校にて開催された「学びフェスタ」にて「HOA ALOHA」「フラメンコ舞踊部」「世界のことばと文化（任意学生）」における講師
37	技能五輪全国大会 英語試験官補助ボランティア	B	11月28日～12月1日	1	技能五輪全国大会におけるレストランサービス部門にて、英語面接試験監督のボランティア
38	日本橋三越本店「世界のクリスマス読みかせ」ボランティア	B	12月13日	2	日本橋三越本店にて英語とベトナム語で普通の読み聞かせボランティア
39	マレーシアモニタリングツアーアテンドボランティア	B	1月7日	3	千葉県を巡りながら千葉県の魅力を発信するマレーシア大学生モニタリングツアーでのツアーアテンド及び通訳ボランティア
40	タイ王国の大学生と巡る千葉県ガイドラリーアテンドボランティア	B	1月20日、21日	3	千葉県を巡りながら千葉県の魅力を発信するタイ大学生モニタリングツアーでのツアーアテンド及び通訳ボランティア
41	韓国教職員招へいプログラム 通訳ボランティア	B	1月21日、24日	11	ホームビジット受入家庭と韓国語通訳学生ボランティア
42	千葉県タイガイドラリー アテンドボランティア	B	1月20日、21日	3	タイ王国の大学生と巡る「千葉県ガイドラリー」に参加し、タイ大学生と千葉県への訪日旅行促進の一環として千葉県の観光名所を巡り、千葉県の魅力を発信
43	昭和小学校 留学生交流ボランティア	B	1月29日	5	袖ヶ浦市立昭和小学校で行われた異文化交流イベントにて、本学留学生が講師として出身国について発表
44	海浜打瀬小学校 中国語通訳ボランティア	B	2月10日	11	巴蜀（ハショク）小学校からの訪問団と海浜打瀬小学校の交流会が行われ、子供達のコミュニケーションの日中通訳ボランティア
45	防災そなえパークの日 運営ボランティア	B	3月14日	15	ベイタウンで開催される防災イベントで、子供達に消火器の使い方指導、はしご車体験補助等の運営ボランティア
46	英語で遊ぼう 英語講師補助ボランティア	B	3月15日	3	ベイタウンで開催される幼児向け英語教室の英語講師補助
47	国際ボランティアプロジェクト	C	夏期休暇中2週間程度	19	遊歩道の整備、公園の清掃、壁のペンキ塗り、イベント企画運営
48	オセアニア環境保護ボランティア	C	夏期休暇中2週間程度	7	植林や遊歩道整備などの環境保護活動
49	オセアニア幼稚園ボランティア	C	夏期休暇中2週間程度	5	幼稚園で園児のお世話など担任の先生のアシスタント
50	ベトナム孤児院・養護施設ボランティア	C	夏期休暇中2週間程度	5	孤児院や養護施設の子供達の日常生活の補助や交流活動
51	インドネシア日本語教師アシスタントボランティア	C	夏期休暇中2週間程度	1	高校または大学で日本語、日本文化の授業のアシスタント
52	カナダ環境保護・動物保護ボランティア	C	夏期休暇中2週間程度	6	植林や遊歩道の整備などの環境保護活動 動物養護施設やファームで檻の清掃やエサやりなどの動物保護活動
53	アメリカ教師アシスタントボランティア	C	夏期休暇中2週間程度	2	教師アシスタントとして小学校にて教材準備のお手伝いや授業中の児童のサポート
54	国際ボランティアプロジェクト	C	春期休暇中2週間程度	3	遊歩道の整備、公園の清掃、壁のペンキ塗り、イベント企画運営
55	オセアニア環境保護ボランティア	C	春期休暇中2週間程度	7	植林や遊歩道整備などの環境保護活動
56	オセアニア幼稚園ボランティア	C	春期休暇中2週間程度	4	幼稚園で園児のお世話など担任の先生のアシスタント
57	ベトナム孤児院・養護施設ボランティア	C	春期休暇中2週間程度	2	孤児院や養護施設の子供達の日常生活の補助や交流活動
58	インドネシア日本語教師アシスタントボランティア	C	春期休暇中2週間程度	2	高校または大学で日本語、日本文化の授業のアシスタント
59	カナダ環境保護・動物保護ボランティア	C	春期休暇中2週間程度	1	植林や遊歩道の整備などの環境保護活動 動物養護施設やファームで檻の清掃やエサやりなどの動物保護活動
60	アメリカ教師アシスタントボランティア	C	春期休暇中2週間程度	1	教師アシスタントとして小学校にて教材準備のお手伝いや授業中の児童のサポート
61	アメリカボランティア	C	春期休暇中2週間程度	2	チャイルドケアボランティア
			計	607	

ボランティア体験談

千葉県立松戸馬橋高等学校 教員
2014年度英米語学科卒業
東日本大震災復興教育ボランティア
(宮城県亘理町2012年度参加)

竹縄 春佳



ある男の子との出会いが私を教員の道へと導いてくれました。

大学2年生のときに宮城県亘理町の中央児童センターで小学生の子どもたちに英語の楽しさを伝える目的で東日本大震災復興教育ボランティアに参加しました。震災からまだ間もないことを思えば、英語に焦点を当てるといっても子どもたちの傷ついた心のケアに目を向けるべきだと意気込み現地へと向かいました。ところが、初めて出会ったときの彼らは非常に明るく元気で、逆にこちら側が元気をもらうほどでした。しかし、それは間違った認識だと気づかされました。期間中にある一人の男の子とよく話すことができました。彼が家族と遊園地に行った話をしていた時のことです。突然、津波で亡くなった父親のことを言葉にしたのです。その瞬間、目で見ていることすべてが真実ではないということ、常に明るくしようと耐えてただけで心の中では抱えきれないほどの悲しみがあつたことに気づかされました。その経験が、「生徒一人一人の心に寄り添う教員を目指す」という方向性を示してくれました。

勤務先の生徒から忘れられない言葉があります。「生徒にちゃんと寄り添う先生だね。」と。どんなに嬉しかったことか。自分自身の芯がぶれないよう、今でもそしてこれからも大切にしていきたい言葉です。あの時出会った男の子がいなければ今の私はいないと言っても過言ではありません。私にとってこのボランティアは大切なことを気づかせてくれた出会いに溢れた経験です。生涯、子どもたちに寄り添う教員であり続けようと思います。

英米語学科3年
ソチオリンピック2014通訳ボランティア参加
(担当種目：アルペンスキー)
第三回全国学生英語プレゼンコンテスト 優秀賞受賞
梶村 真



ひよんなことから始まったオリンピック

今までの人生の大半を野球という一つのことに専念してきた私は、高三の時に怪我をし、野球という道を断念しました。そこで、大学では今までとは全く違った道に進みたいと考えていた時、教授からオリンピックで通訳をやらないかというお誘いがありました。「通訳は体が資本」ということを聞いていたので、朝4時に起きてランニング、ジムで2時間に及ぶ筋トレ、そしてそれ以外の時間は勉強とオリンピックについて情報を集めたりと、準備を入念に行いました。

日本代表として

常に、番組ディレクターや解説者そしてアナウンサーと会場からスタジアムまで同行し、どこに行くにも通訳者としてオリンピック関係者と番組スタッフとの間に入り、通訳をするこの仕事は思った以上に大変でした。さらに、オリンピックという非日常的な世界に最初は馴染めず、現地では起きた問題に対し、どう行動すべきか悩む日々が続きました。しかし、そんな時に毎回自分に言っていたのは「(選手だけでなく)私も日本代表だ」という言葉です。外国に行っても、日本にいても、外国人と接する時はこの気持ちを大切にしていました。気の持ちようで行動は変わってくると、とにかくこの気持ちを忘れないよう、常に続けていました。

理想の自分を追い求めて

オリンピックを終えた私は、この経験を生かしたいとすぐに世界卓球組織委員会のインターンに参加しました。世界卓球では海外メディア対応兼代理統括責任者として会場を走り回りました。様々な問題が起きても、やはり自分は日本代表であるということが頭にあったからこそ、どんなことも頑張ることができました。なぜここまで頑張れたのかというと、やはり野球というずっと続けてきた道を断念した悔しさがあったからではないかなと思います。今の自分は理想の自分ですかと聞かれれば、目標の自分にはなれていても、理想とは程遠いものがあります。しかし、それでも踏ん張って様々なことに挑戦していくことで、良い意味で理想とは異なる新しい自分像ができた気がしています。私はこれから人生で初めての留学に行きますが、とにかくジャンル問わず、自分自身に、そして社会に対して、常に挑戦状を叩きつけるくらいの勢いで様々な体験をしていきたいと思っています。

ボランティアセンター主催イベント

ボランティアフェア2014

日時: 2014年5月18日(日) 11:00~15:00
場所: ミレニアムハウス
参加者: Re: Japan (東北支援)、DAWN KUIS (フェアトレードの普及・フィリピン女性支援)、Habitat for Humanity KUIS (発展途上国の住宅建設支援)、幕張新都心賑わいづくり研究会学生部 (地域活性化)、くいすにほんごくらぶ (日本語学習支援)、MakeSmile (東北支援)
趣旨: ボランティアフェアの開催は 1. 学内のボランティア活動の活性化 2. 学生ボランティア団体と在学生・一般来場者の情報交換と交流 3. 在学生・一般来場者のボランティアに対する意識向上を目的としています。
来場者数: 80名 (在学生: 50名 一般: 30名)

ボランティアフェア
 夢中になれること、ありますか?
 5月18日 (Sun)
 11:00~15:00
 神田外語大学 ミレニアムハウスホール
 ※申込み不要・入退場自由

◆スケジュール
 11:00~12:10 あけぼの公演
 ◆「劇団あけぼの」はフィリピン人と日本人の間に生まれた子供達の劇団員によって構成されています。今回上演するミュージカル公演では、彼らJFC(ジャバニーズ・フィリピン・チルドレン)の生い立ちや母子を取り巻く環境を、犬と鶴の物語に重ねて演じます。
 12:20~13:20 ボランティア入門講演
 ◆アジアコミュニティセンター21 伊藤 道雄 氏
 立教大学21世紀社会デザイン研究科特任教授
 13:30~15:00 学内ボランティア団体活動発表
 ボランティア団体個別相談ブース
 ◆参加団体
 Re:JAPAN、DAWN×KUIS、Habitat for Humanity KUIS、くいすにほんごくらぶ
 Make Smile、幕張新都心賑わいづくり研究会学生部

主催: 神田外語大学ボランティアセンター

◆ブース案内(ミレニアムハウス)

① Re:JAPAN
 ② Habitat for Humanity KUIS
 ③ くいすにほんごくらぶ
 ④ DAWN×KUIS
 ⑤ Make Smile
 ⑥ 幕張新都心賑わいづくり研究会学生部

① **Re:JAPAN**
 Rethink, Rebuild, Remember” という理念に基づき、周囲への情報発信のため被災地の現状を伝えるとともに、実際に現地で販売されている商品を学内で販売し、売上金を現地に送る支援をしている東北支援団体

② **Habitat for Humanity KUIS**
 「誰もがきちんとした場所で暮らせる世界」を基盤に夏と春の年2回、海外住居建築活動を途上国で行っている団体

③ **くいすにほんごくらぶ**
 千葉県八千代市にある教室で在日外国人の方に日本語を教えるボランティアを行っている団体

④ **DAWN×KUIS**
 支援するフィリピン人女性たち手作りのブックカバーなどの小物や、シャツなどの衣服をフェアトレード商品として販売してフィリピン女性とその子供たちを支援する団体

⑤ **Make Smile**
 宮城県亘理町、福島県三春町を訪問し、現地の児童館や小学校にて英語教育活動を行う、有志の東北支援団体

⑥ **幕張新都心賑わいづくり研究会学生部**
 幕張の地域の方や団体と積極的に交流し、数々のイベントを企画し運営を行う幕張新都心の活性化を目的とした団体

プログラム

11:00~15:00
「モザイクアート」
 付箋と模造紙を使用して来場者からメッセージを集めました。来場者の「夢」を付箋に記入してもらい「夢」という大きな文字を下書きをした模造紙に、付箋を貼っていきました。
 12:20~13:20
「ボランティア入門講演」／参加者37名
司会: Habitat for Humanity KUIS

講演者：アジアコミュニティセンター21

伊藤 道雄氏（立教大学21世紀社会デザイン研究科特任教授）

内容：「ボランティアとは？」という大きな課題から、実はその精神は日本の古くから伝わる共生社会で育まれた「他人を思いやる」という気持ちであるということ、身近な例や伊藤さんの発展途上国での実体験を交えながら、ボランティア活動をするにあたっての心構えについてご講演いただきました。



伊藤氏の講演①



伊藤氏の講演②

13:30~15:00

学内ボランティア団体活動報告

発表者：Re: JAPAN、幕張新都心賑わいづくり研究会学生部、Habitat for Humanity KUIS、くいすにはんごくらぶ、MakeSmile

内容：各団体が持ち時間15分程の中で、パワーポイントや動画を使って団体の活動発表を行いました。特にHabitat for Humanity KUISは、今年の春にフィリピンで活動した際の動画を使用し、国際協力の実態や現地の様子を伝え観客の注目を引いていました。



集合写真

ボラカフェ@浜風祭

日 時：2014年11月1日(土)、2日(日)
10:00～17:00

場 所：1-205

内 容：学内外に対するボランティアセンターの活動周知、及びボランティア活動の促進を目的に、本学で実施されているボランティアの報告や外部講師を招いて講演会を実施しました。

学 生 団 体：ちばくりん、Habitat for Humanity KUIS、DAWN×KUIS、くいすにほんごくらぶ、Re: Japan、神田外語大学CUP、幕張新都心賑わいづくり研究会学生部

個人ボランティア：海外ボランティア（黒柳悠介、金盛大樹）、東京ゲームショウ（甲斐雄大）、通訳ボランティア（伊藤真奈）

来 場 者 数：1日目 45名 2日目32名 計77名

内 容：1. パネル展示
ボランティアセンター、学内ボランティア団体、個人で活躍しているボランティア学生による活動報告を模造紙にまとめ展示

2. 活動報告会
両日1部・2部に分けて各ボランティア15分でパワーポイントなどを使用し、活動報告

3. 講演会
元青年海外協力隊員の箕輪明希子さんよりインドネシアでの日本語教師支援のご経験について

講演会

**インドネシアで日本語教師ボランティア
～今あなたにできること～**



11/1(土)
14:00～15:00

講師：元青年海外協力隊員 箕輪 明希子 氏

参加費 無料

- 場所：神田外語大学 1号館205教室
- 定員30名
- 申込み不要、参加費無料




主催：神田外語大学ボランティアセンター

1-205 出展中!

**神田外語大学
ボランティアセンター**



11/1(土)・11/2(日)
10:00～16:00

お菓子も用意しています。お気軽にお越しください♪

入退場 自由

- 場所 1-205
- 内容 1)ボランティア団体パネル展示
2)活動報告会
3)国際協力講演会(元青年海外教区隊員による講演)
- 報告会スケジュール

第1部
13:00～13:15 幕張チャリティーフリーマーケット(チャリティーイベント)
13:15～13:30 CIEE海外ボランティア(海外ボランティア)
13:30～13:45 東京ゲームショウ(通訳ボランティア)

第2部
15:00～15:15 Re:Japan(東北復興)
15:15～15:30 DAWN×KUIS(フェアトレード、フィリピン女性支援)
15:30～15:45 Habitat for Humanity KUIS(海外住居建築活動)
15:45～16:00 幕張新都心賑わいづくり研究会学生部(地域活性化)

ボランティアフェア2015

日時：2015年5月23日(土)・24日(日) 11:00~15:00

場所：ミレニアムハウス

参加団体：Re: Japan(東北支援)、DAWN KUIS (フェアトレードの普及・フィリピン女性支援)、Habitat for Humanity KUIS (発展途上国の住宅建設支援)、幕張新都心賑わいづくり研究会学生部、くいすにほんごくらぶ (日本語学習支援)、ちばくりん (ゴミ排出量削減の啓蒙活動)、神田外語CUP (幕張チャリティ・フリーマーケット主催)、MakeSmile (東北支援)

来場者数：89名 (在学生38名、一般51名)



講演会
**幸せの国ブータンが教えてくれたこと
 ~子供たちと過ごした3年間~**

日時 5月23日(土)
 13:30~14:30

場所 神田外語大学
 ミレニアムハウス

講師 関健作氏(写真家)

申込み不要
 参加無料

主催 ボランティアセンター



ボランティアフェア2015

日時:5月23日(土)、24日(日)
 11:00~15:00

場所:神田外語大学
 ミレニアムハウス

参加無料
 申込み不要

23日(土)	24日(日)
11:30~13:00 貿易ゲーム 発展途上国、先進国に分かれ貿易の仕組みや世界の課題を学ぶワークショップ	11:00~12:00 あけぼの公演~クレイドッグ~ 日本とフィリピンのハーフの子供達(JFC)による彼らの生い立ちを表現した演劇
13:30~14:30 幸せの国ブータンが教えてくれたこと ~子供たちと過ごした3年間~ 関健作氏(写真家)の講演会	12:00~13:00 JFC問題パネルトーク 小ヶ谷 千穂教授 (フェリス学院大学) ジャパニーズフィリピンチルドレン問題についてのパネルトーク

常設
 ■ミサンガ作りワークショップ
 ■ボランティア団体写真展

主催:神田外語大学ボランティアセンター

プログラム

5月23日(土)

11:30~13:00

「貿易ゲーム」/参加者18名

発展途上国、先進国に分かれ各グループに与えられた資材で、製品を生産し、マーケットで適正なお金に換えるという貿易の仕組みを学ぶワークショップを実施しました。各グループは戦略を立て、各国と協力・交渉したりする中でどのようにすれば、世界の国々がフェアに貿易ができるのかということ学ぶ機会になりました。

13:30~14:30

「幸せの国ブータンが教えてくれたこと ~子供たちと過ごした3年間~」/参加者21名

関健作氏(写真家)によるボランティア講演会を実施しました。ブータンが幸せの国と言われているゆえんや青年海外協力隊として3年間現地に滞在する中で学んだ異文化を受け入れ、理解しようとするこの大切さ等を現地の子供達の写真やブータンの美しい風景写真と一緒に紹介していただきました。

5月24日（日）

11：00～12：00

「あけぼの公演～クレインドッグ～」／参加者45名

日本とフィリピンのハーフの子供達（Japanese Filipino Children）による演劇。JFCが抱えている問題や自分は何者かというアイデンティティーを模索する様子が表現されていました。



クレインドッグ公演の様子



DAWN KUIS紹介の様子

12：00～13：00

「JFC問題パネルトーク」／参加者20名

小ヶ谷千穂教授（フェリス女学院大学）、伊藤里枝子氏（特定非営利活動法人JFCネットワーク代表）カルメリータ・ヌキ氏（DAWN代表）によるジャパニーズフィリピーノチルドレン問題についてのパネルトークを実施しました。日本とフィリピン双方でJFC（Japanese Filipino Children）／JFY（Japanese Filipino Youth）を取り巻いている現状や課題について、日本、フィリピンの双方で長年にわたって支援にかかわってきた団体（JFCネットワーク＝日本、DAWN＝フィリピン）それぞれの立場から問題提起し、問題解決への糸口を模索しました。

※JFC問題

JFCとはJapanese-Filipino childrenの略称で日本人男性とフィリピン人女性の間の子供のこと。子どもたちの母親の多くは、職を求めて来日するが、共に来日したJFCのアイデンティティー問題、経済問題などが昨今問題とされている。

常設（11：00～15：00）

ミサンガ作りワークショップ

フェアトレードの糸を使用したミサンガ作りを実施しました。大人だけではなく多くの子供達の参加もあり、色とりどりのミサンガができあがりました。楽しみながらも、しっかりとフェアトレードについて学べる機会になりました。

※ミサンガとは手首に巻き付ける刺繍（ししゅう）糸のお守りのこと

ボランティア団体写真展示会

8つの学内ボランティア団体の活動を紹介する写真展を行いました。各団体から写真を5枚厳選し、国内外に広がる学生が実施するボランティア活動の様子を一目見ただけでわかるように展示しました。



ボランティア団体展示会



貿易ゲーム



ミサンガ作りワークショップ



関健作氏の講演

学内ボランティア団体（9団体）の紹介

Hello Time

小学1～4年生の英語の先生として英語の授業サポートをすることをメインとして、子供たちと一緒に英語でサツマイモ掘りをしたり、小学校のイベントに参加する等活動は多岐にわたります。



Habitat for Humanity KUIS

夏と春の年2回、海外住居建築活動を途上国で行い、毎月末には啓蒙活動も兼ね、現地での建築資材購入のための募金活動や、週に1回主に国際問題についての勉強会を行っています。



DAWN×KUIS

フィリピン女性とその子供たちを支援する学生団体です。支援するフィリピン人女性たち手作りのブックカバーなどの小物や、シャツなどの衣服をフェアトレード商品として販売しています。



神田外語大学CUP

大学キャンパス内で地域の方々から寄付品を募り、フリーマーケットを中心としたチャリティイベントを実施しています。（P13参照）



くいすにほんごくらぶ

在日外国人の方向けに、学習者さんのレベルに合わせながら、マンツーマンで日本語を教えたり、太巻き作りなどのイベントを通して日本の文化を伝える活動をしています。



幕張新都心賑わいづくり研究会学生部

幕張の地域の方々や団体と積極的に交流し、サマーソニックの前夜祭企画を始めとして、数々のイベントを企画・運営し幕張地域活性化につながる活動をしています。



Re:JAPAN

“Rethink, Rebuild, Remember” という理念に基づき、被災地の現状を伝えるとともに、実際に現地で販売されている商品を学内で販売し、売上金を現地に送る支援をしています。



ちばくりん

千葉市、敬愛大学、千葉大学と連携をしながら、ゴミの減量の啓発活動や近隣の小学校などでもワークショップを実施しています。



MakeSmile

東日本大震災復興教育ボランティアを経験した学生のコアメンバーが集まり、「震災を風化させない」をテーマとして宮城県亘理町でのボランティアをボランティアセンターと協働しながら実施しています。



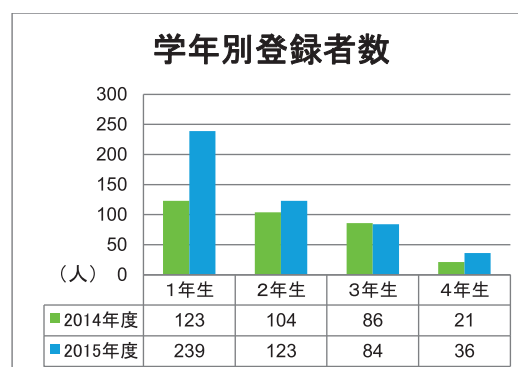
ボランティア情報の発信

1) ボランティア登録

2014年度からボランティア登録制度を導入し334名の在学生在が登録し、2015年度は482名の学生が登録をしました。ボランティア活動をより多くの学生に経験してもらうため、ボランティアに興味関心のある学生情報のデータベース化を図り、より効果的にボランティアの募集を行いました。登録者には、ボランティア活動を促進する目的として、学内外で実施するセミナー、イベント、講座等の情報を定期的にメールマガジンで配信しています。

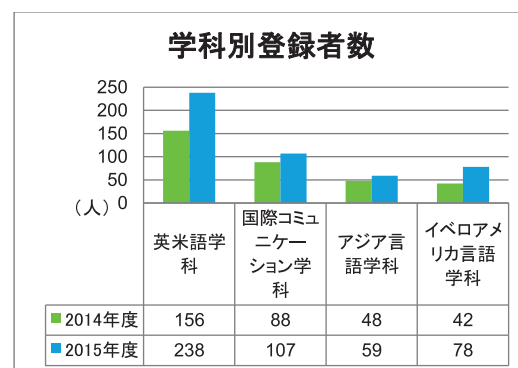
学年別登録者数（人）

学 年	2014年度	2015年度
1 年 生	123	239
2 年 生	104	123
3 年 生	86	84
4 年 生	21	36
計	334	482



学科別登録者数（人）

学 科	2014年度	2015年度
英米語学科	156	238
国際コミュニケーション学科	88	107
アジア言語学科	48	59
イペロアメリカ言語学科	42	78
計	334	482



2) ボランティアセンター専用のホームページ 開設

ボランティアセンターホームページにて、最新情報を更新しています。

3分野のボランティアの募集情報をリアルタイム、且つ活動内容を分かりやすく案内をしています。ボランティアの情報については、事前に学生の学習機会として信頼性、学生の自立的な活動の場としての適切性等を吟味・精査しながら情報を発信しています。



URL <http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/labo/volunteer/>

3) ボランティアセンターリーフレット

学内外に向けてボランティアセンターの概要を説明したリーフレットを作成し、ボランティア活動の促進を図っています。

KUIS Volunteer Center

ボランティアの始め方

STEP 1 ボランティア登録
KUIS Campus Web(学生用ポータルサイト)のアンテナ→機能からボランティア登録を行う。

STEP 2 情報収集
①KUIS Campus Webからボランティア情報
②ボランティアセンターからのメール/チラシ
③学生課内のラックにあるボランティア情報
④ホームページ
⑤窓口で相談

STEP 3 申し込み
Campus Webに掲載の方法で申し込み

STEP 4 説明会・事前研修に参加

STEP 5 ボランティア活動

STEP 6 報告・振り返り
活動後はボランティアセンターに活動報告をお願いします。

**神田外語大学
ボランティアセンター**
KUIS Volunteer Center

●受付時間
平日(9~18) 9:30~11:30/12:30~17:15
土日：休み

●ボランティアセンター所在地
〒261-0014
千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1
神田外語大学 1号館1階(学生課内)

●電話番号
043-273-2948

●FAX
043-273-1197

●ホームページ
<http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/labo/volunteer/>

●メールアドレス
volunteer@mi.kuis.ac.jp




神田外語大学
ボランティアセンター

KUIS Volunteer Center

KUIS Volunteer Center

**神田外語大学
ボランティアセンターとは?**

神田外語大学ボランティアセンターのボランティア教育支援とは、ボランティアを推進する側の一方的な奉仕活動(サーブス)だけでなく、奉仕活動を通してそれを受ける側から、また活動自体を学ぶ(ラーニング)双方向的な関係を築いています。



ボランティア活動で育つ力

自己・主体的な
行動力

活動内容を軸とした
知識・教養

経験を通して
実践力

神田外語大学ボランティアセンターは、学生に対し、ボランティア体験を通して、国際社会並びに地域社会が抱えている様々な問題やニーズを発見・共有しながら、自ら考え行動する力を養い、活用する機会を確めます。

どんな
ボランティアが
あるの?

神田外語大学のボランティア活動は「スポーツ通訳・国際会議」、「地域貢献・国際交流」、「国際協力・国際開発」の3つに分類され、これら3つの活動が「主体性」、「社会性」、「人間性」の学びへとつながっています。

スポーツ通訳
国際会議

地域貢献
国際交流

国際協力
国際開発

学び

主体性

社会性

人間性

スポーツ通訳・国際会議

大学で学んだ専門的知識を実践の場で活用するだけでなく、通訳ボランティアを通して社会人を育成。

- ・第9回アジアAAA野球選手権大会
- ・世界料理選手権
- ・第30回アジア・オシントック評議会
- ・世界児童選手権大会
- ・世界エアロビクス選手権大会
- ・経典7人制ラグビー東京大会等、など国際大会、会議等の通訳ボランティア

地域貢献・国際交流

地域が抱える課題やニーズを発見・共有し地域の中で課題解決のためのプロセスを学ぶ。

- ・東日本大震災復興教育ボランティア
- ・サマソニック前橋「菊ノ二」企業・運営
- ・華南小学校ニューシニア交流会通訳
- ・高志町若宮通訳ボランティア
- ・徳田小学校国際交流会
- ・ちばくりん(こみほ園地内活動)
- ・華南チャリティーフリーマーケット

国際協力・国際開発

専門教育で培った知識・技能を社会的活動の中で活用する場の提供。

- ・CRE(夏休)奉還ボランティア
- ・華南チャリティーフリーマーケット

— 53 —

協力・関連団体

幕張新都心賑わいづくり研究会 <http://www.makuhari-nigiwai.com/>

幕張新都心周辺の企業・行政・教育機関・地元自治会、商店会が連携し幕張新都心の活性化と賑わいの創出に取り組む研究会。

国際教育交換協議会 <http://www.cieej.or.jp/>

アメリカに本部を持つ非営利教育団体。「TOEFLテスト日本事務局」としてTOEFLテスト公式情報を発信し、国際ボランティアプロジェクトを始めとする海外ボランティアを主催する団体。

JICA地球ひろば <http://www.jica.go.jp/hiroba/>

JICA本部（独立行政法人国際協力機構）や国内のJICA国内機関と連携し、国際協力に関わる市民団体の情報発信や交流、研修の拠点を提供し活動を支援する団体。

特定非営利法人 国際協力NGOセンター（JANIC） <http://www.janic.org/>

オンライン寄付サイト「NGOサポート募金」、やNGOの情報庫「NGOダイレクトリー」「NGO市民情報センター」などを運営し、国内にある国際協力NGO団体の活動を支援する団体。

アジア・コミュニティー・センター21（ACC21） <http://www.acc21.org/>

アジアの現地NGO団体との幅広いネットワークを基盤に、アジアの貧困削減の実現に向け活動する団体。

公益信託アジア・コミュニティー・トラスト（ACT） <http://www.acc21.org/act/>

アジアの発展途上国の人々の自立と発展を支援する公益信託。

編集後記

神田外語大学
ボランティアセンター
實山あゆみ

ボランティアセンターは設立して3年目を迎え、いよいよ年次活動報告書の創刊号を編集するに至りました。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催も決定し、通訳ボランティアを始め、社会的にも「ボランティア」というキーワードが注目されるようになってきました。それに伴い学生のボランティアへの関心度や活動への参加率が年々高くなっています。

神田外語大学では、ボランティアセンター設立前においても、幕張新都心賑わいづくり研究会学生部のサマーソニック前夜祭イベントの企画・運営や、今年で15年目を迎える幕張南小学校ニュージーランド交流会など地域との連携を深めて参りました。その過程で、学生が様々な世代や多様な背景をもった方々と協働する中で学ぶことが多々あると痛感しております。本学ボランティアセンターでは、学生が様々なボランティア活動を通して、経験を積み、自身の視野を広げ、真の国際人として成長できるような場と機会の提供ができればと思っています。ボランティア活動を通して国内外の多くの人々に出会い、何かの「気づき」になり、学生の「成長」の糧になればと願っています。大学で学んでいることが、地域で、社会で、そして世界で活かせる舞台がたくさんあります。学生の「何かやってみたい!」「大学で学んだことを活かして社会に貢献したい!」「ただ純粹に人の笑顔がみたい!」という真摯な想いをボランティアセンターは応援します。

ボランティアセンターが無事3年目を迎えられたのも、地域の方々、受け入れ団体様、他大学ボランティアセンターコーディネーターの皆様、学内の教職員の方々などボランティアセンターに関係する全ての方々のご理解とご協力の賜物であると感謝しております。

今後とも神田外語大学ボランティアセンターを温かく見守っていただけますよう、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

神田外語大学ボランティアセンター報告書 ～創刊号～

発行 2015年11月30日

発行者 〒261-0014

神田外語大学ボランティアセンター

千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1 1号館1階

TEL : 043-273-1337

FAX : 043-273-2948

Email : volunteer-center@kanda.kuis.ac.jp

ホームページ : <http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/lab/volunteer/index.html>

表紙デザイン

印刷 勝美印刷